

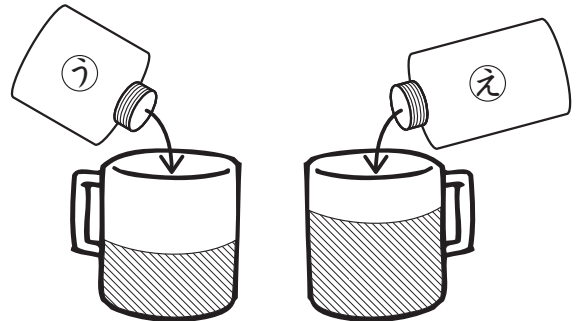
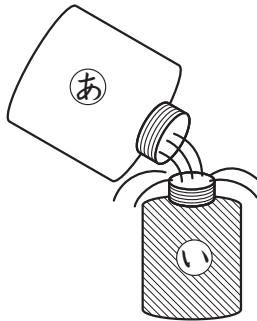
8 水のかさ ①

な
ま
え**ねらい** かさの意味、かさの比べ方を理解する。

- ① 2つの水とうに入る水のかさをくらべました。
それぞれ、どちらの水とうが^{おお}多く入るでしょうか。

- ① ①の水とうの水を、②の水とうにうつしたら、②から水があふれてしまいました。

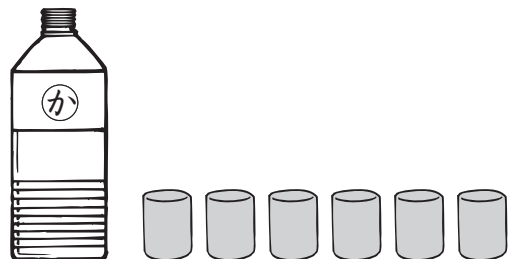
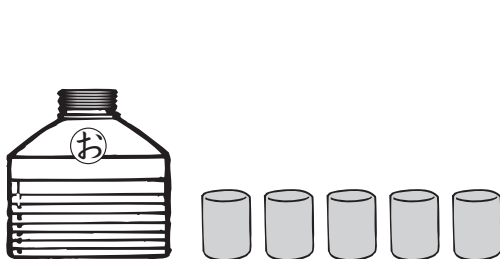
- ② 同じ大きさの入れものに、入れかえました。


 の水とうが多く入る。

 の水とうが多く入る。

- ② 2つの水とうに入っている水を、同じ大きさのコップに入れかえました。

どちらが、どれだけ多く入っていたでしょうか。

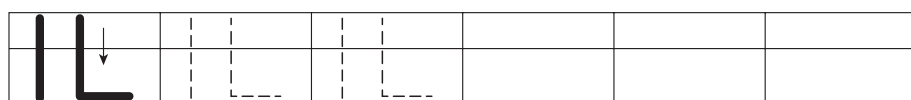

 の水とうのほうが、コップ ぶん、多く入る。

8 水のかさ ②

な
ま
え

ねらい かさの単位「L」を理解する。

- ① 水などのかさをはかるには、1リットルますをつかいます。
1リットルは1^かLと書きます。1^かLの書き方を^{かた}れん^{しゅう}習しましょう。



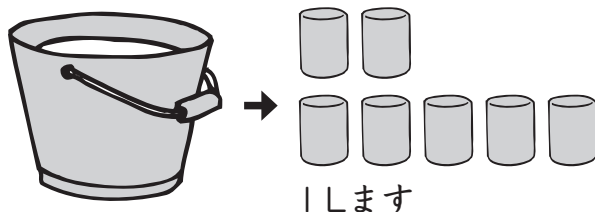
1リットル

ゆっくり
ていねいに
かきましょう。

- ② いろいろな入れものに入る水のかさを1リットルますをつかって、しらべました。

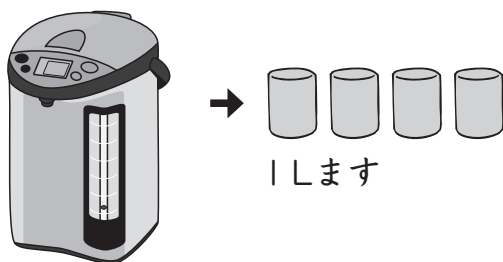
水のかさは、それぞれ何^{なん}Lでしょうか。

①



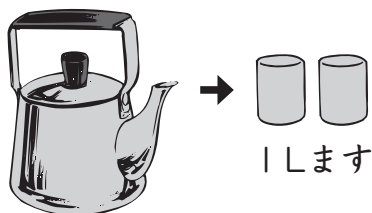
1Lの こ分^{ぶん}で L

②



1Lの こ分^{ぶん}で L

③



1Lの こ分^{ぶん}で L

8 水のかさ ③

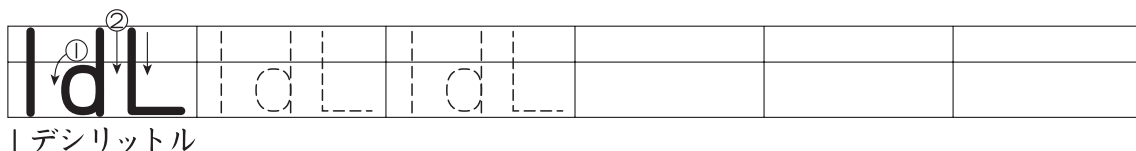
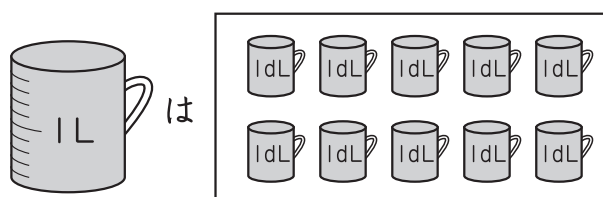
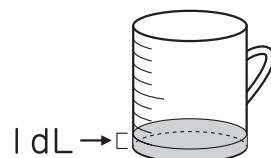
なまえ

ねらい かさの単位「dL」と単位の間係を理解する。

- ① 1Lを^{おな}同じかさに10^わこに分けた1^{ぶん}こ分のかさを1デシリットルと
いい、1dLと^か書きます。

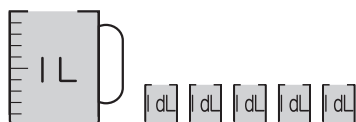
$$1\text{L} = 10\text{dL}$$

1dLの^{かた}書き方を^{しゅう}れん習しましょう。



- ② 水のかさは、それぞれ何^{なん}L何dLでしょうか。

① 水とうに入る水のかさ



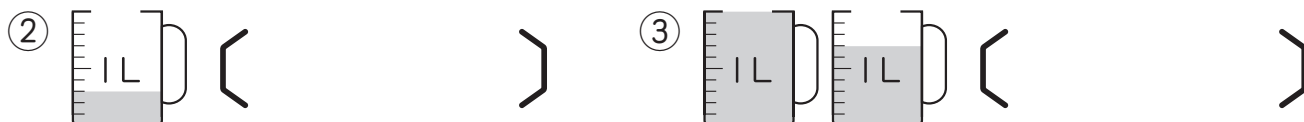
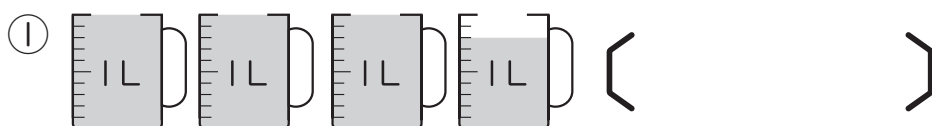
()

② やかんに入る水のかさ



()

- ③ 水のかさは、どれだけでしょうか。



ねらい かさの単位「mL」と単位の間係を理解する。

- ① かさをあらわすたんい“mL：ミリリットル”の書き方を
れん^{しゅう}習しましょう。



- ② □にあてはまる数^{かず}を書きましょう。

① 1 L = mL

② 1 dL = mL

- ③ □にあてはまる数を書きましょう。

① 2 L = mL

② 300 mL = dL

③ 1500 mL = L dL

④ 7 dL = mL

- ④ □にあてはまる>か<のしるしを書きましょう。

① 1 L 700 mL

② 300 mL 5 dL

③ 3 L 4000 mL

④ 900 mL 8 dL

⑤ 2 L 4 dL 42 dL

⑥ 27 dL 3 L

8 水のかさ ⑤

な
ま
え**ねらい** かさについても加法性が成り立つことを理解する。

1 水が大きな水とうに1 L 5 dL、小さな水とうに3 dL入っています。

① 水はあわせて何^{なん}L何dLでしょうか。□にあてはまる数^{かず}を書きましょう。

$$\square \text{ L } \square \text{ dL} + \square \text{ dL} = \square \text{ L } \square \text{ dL}$$

② ちがいは何L何dLでしょうか。□にあてはまる数を書きましょう。

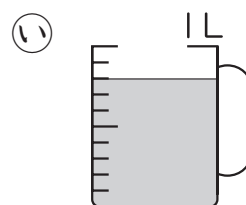
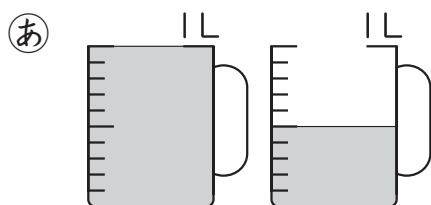
$$\square \text{ L } \square \text{ dL} - \square \text{ dL} = \square \text{ L } \square \text{ dL}$$

2 ^{けいさん}計算をしましょう。

① 4 L 8 dL + 5 L ()

② 600 mL - 200 mL ()

③ 5 L 6 dL - 2 L 3 dL ()

3 下の㊱と㊲の水かさは、あわせて何L何dLでしょうか。
また、ちがいは何dLでしょうか。あわせると ^{しき}式^{こた}答えちがいは ^{しき}式

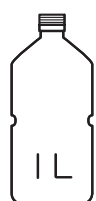
答え

水のかさ (学んだことをつかおう) ⑥

なまえ

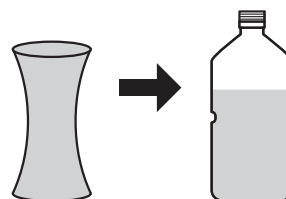
ねらい 身の回りのもののかさについて、およその見当をつけ、測定することができる。

- Ⅰ さとしさんは、いろいろな入れものに入る水のかさを、
1Lの水が入るペットボトルをつかってしらべてみました。

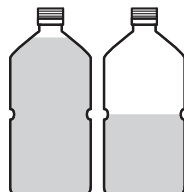


1Lの水が入る
ペットボトルに
水をうつしてみました。

⑥かびん



①やかん



②じょうろ



⑥、①、②の水のかさをよそうしてみしょう。
よそうにちかい水のかさを○でかこみしょう。

⑥ かびん (およそ8dL およそ1L およそ1L5dL)

① やかん (およそ1L およそ1L5dL およそ2L)

② じょうろ (およそ3L およそ4L およそ5L)

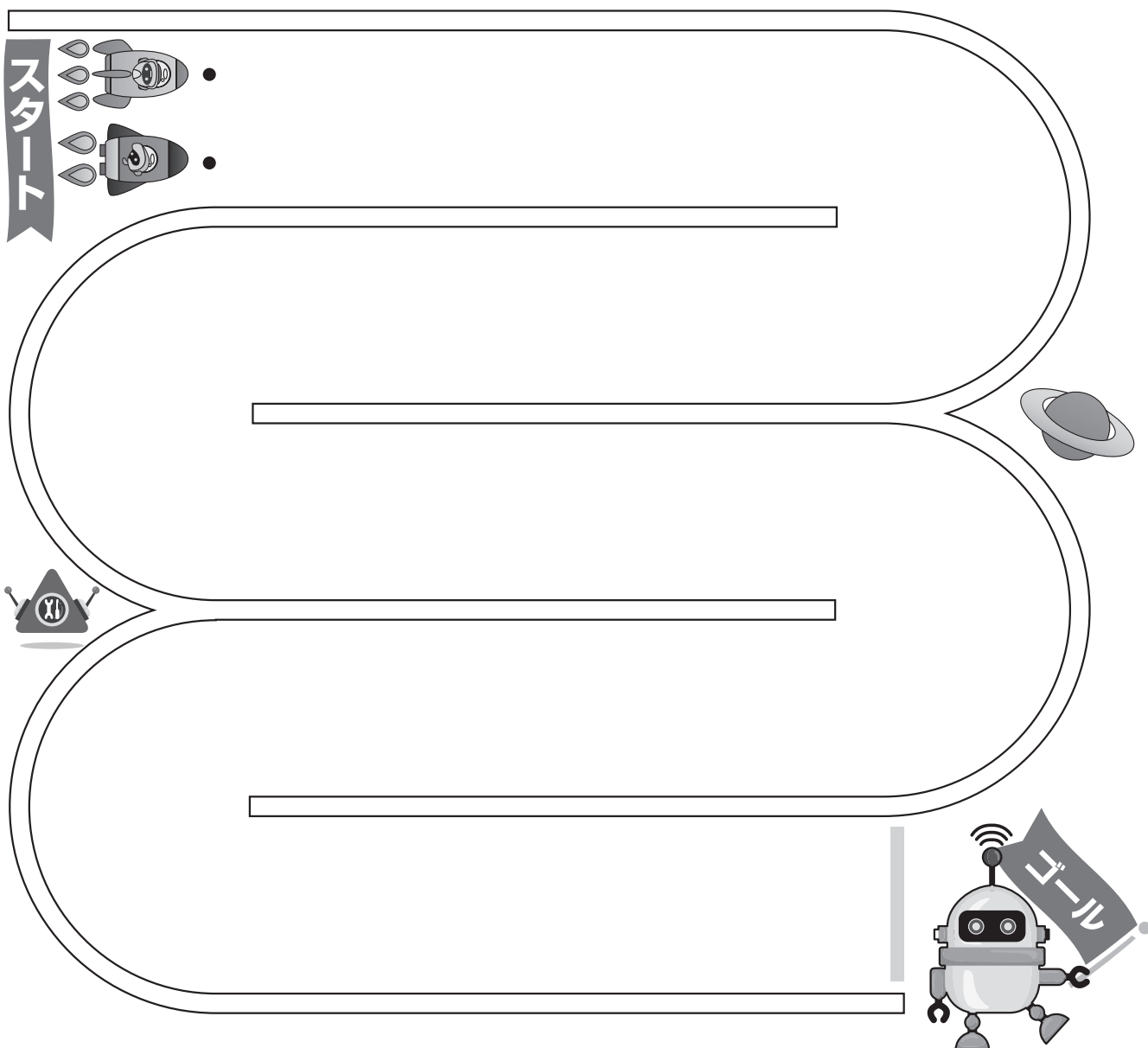
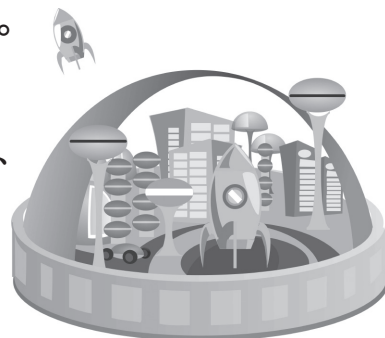
★ 算数ワールド
ロボットレース

なまえ

ねらい 直線の作図の習熟を図る。

★ 2人でレースをしましょう。

- ① 自分の色をきめて、色えんぴつを用意します。
- ② じゃんけんをして、パーでかったら5cm、
チョキでかったら2cm、グーでかったら1cm、
直線をかいてすすみます。
- ③ 先にゴールについた人のかちです。

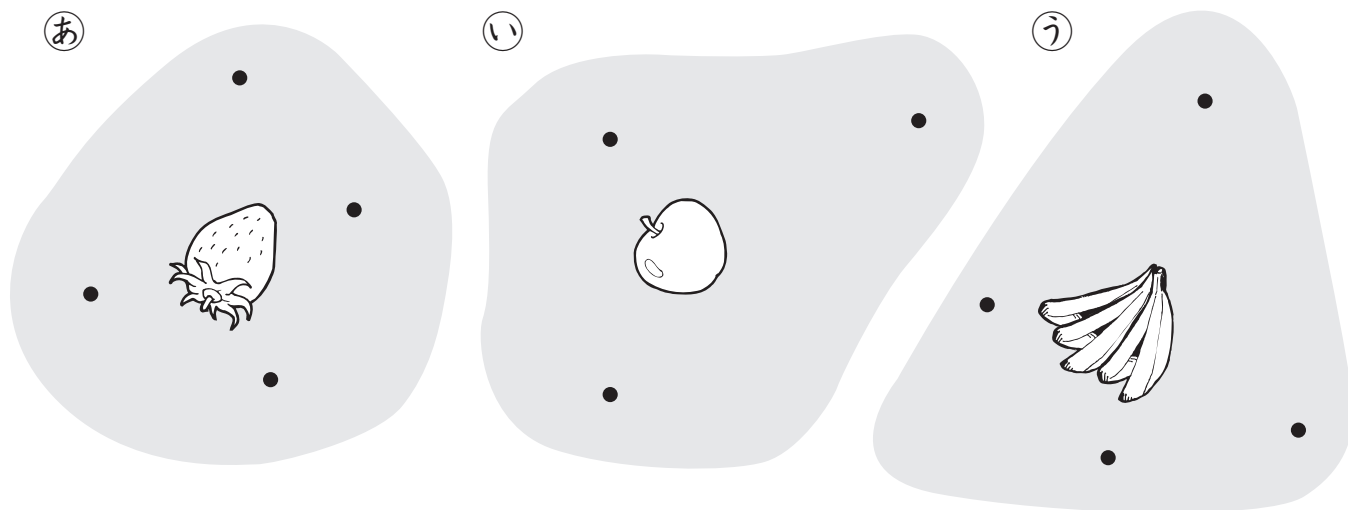


9 三角形と四角形 ①

な
ま
え

ねらい 三角形・四角形の意味を理解する。

① 点と点を直線でむすんで、くだものをかこみましょう。



② () にあてはまることばを書きましょう。

- ① 3本の直線でかこまれた形を() といいます。
- ② 4本の直線でかこまれた形を() といいます。

③ ①でかこんだ形を何といいますか。

- ① いちごをかこんでいる形は() です。
- ② りんごをかこんでいる形は() です。
- ③ バナナをかこんでいる形は() です。

9 三角形と四角形 ②

な
ま
え

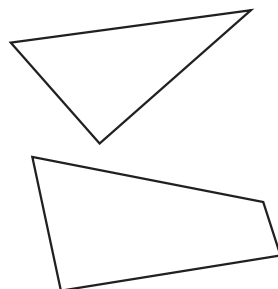
ねらい 平面図形の構成要素（辺、頂点）を理解する。

① () にあてはまることばを、□にはあてはまる^{かず}数^かを書きましょう。

① 三角形や四角形のまわりの直線^{さんかくけい し かくけい ちよくせん}を

() といい、

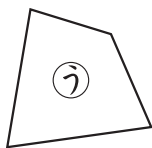
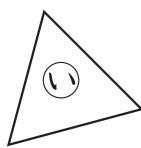
かどの点^{てん}を () といいます。



② 三角形には^{へん}辺が□本、ちょう点^{てん}が□こあります。

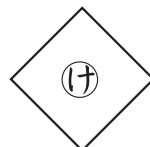
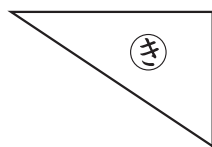
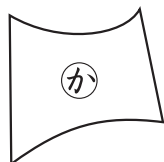
③ 四角形には^{へん}辺が□本、ちょう点^{てん}が□こあります。

② 三角形、四角形を見つけましょう。() の中に^{きごう}記号^{きごう}を書きましょう。



三角形

()

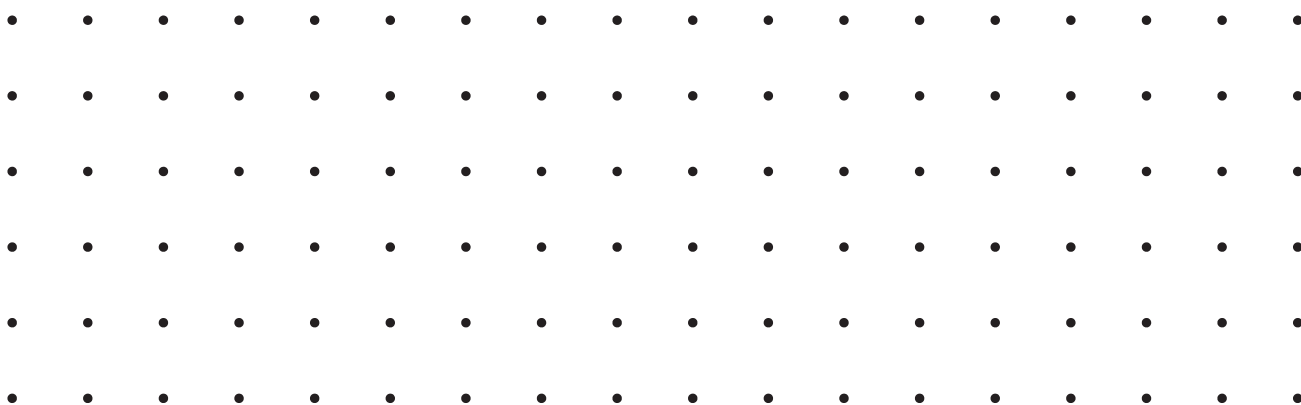


四角形

()



③ 点と点を直線でむすんで、三角形、四角形を2つずつかきましょう。



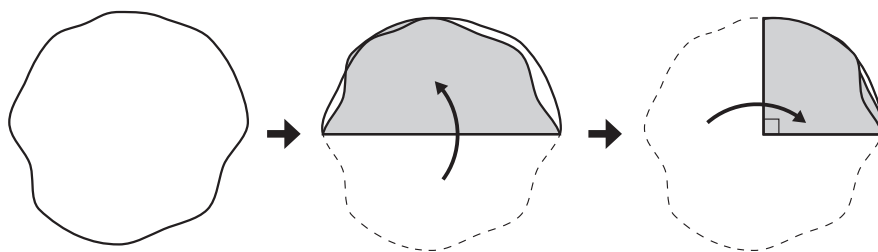
9 三角形と四角形 ③

なまえ

ねらい 直角の意味を理解する。

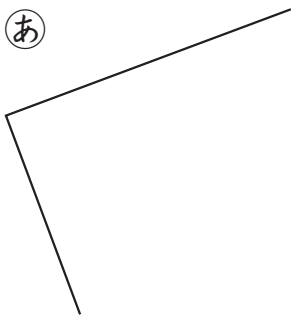
1 () にあてはまることばを書きましょう。

① 紙をおってできたかどの形を () といいます。

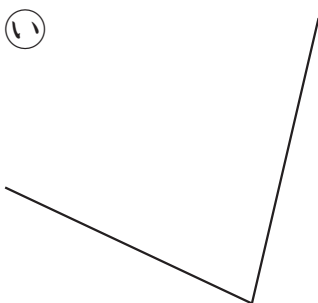
2 かどの形が直角ちよっかくになっているものを見つかけましょう。

答え ()

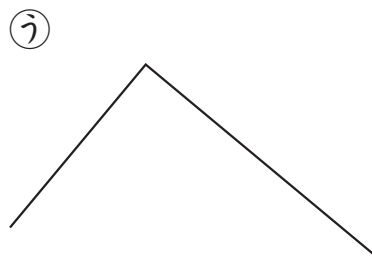
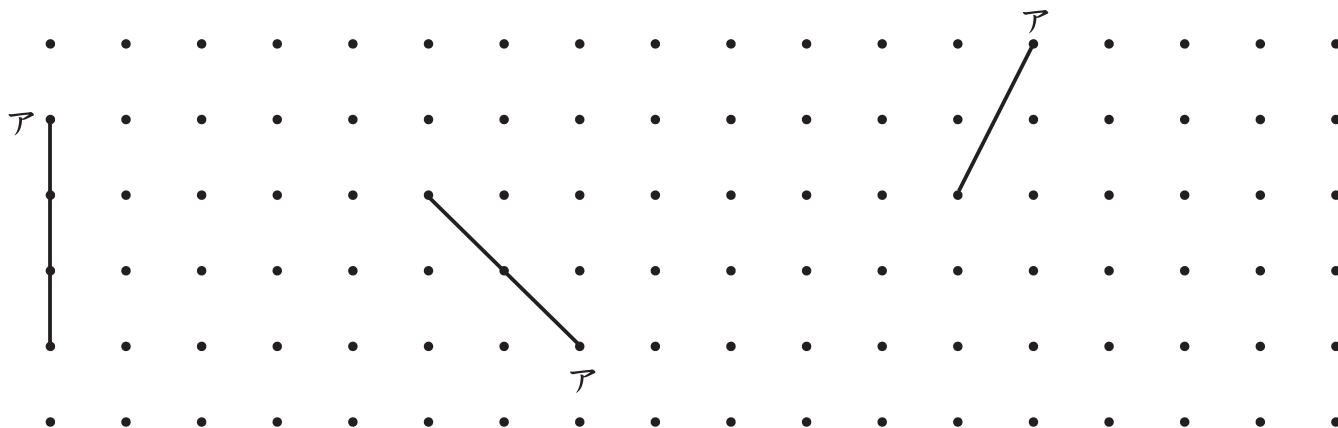
あ



い



う

3 点アてんと点を直線でむすんで、直角をかきましょう。

9 三角形と四角形 ④

なまえ

ねらい 長方形の意味、性質、辺の相等関係を理解する。

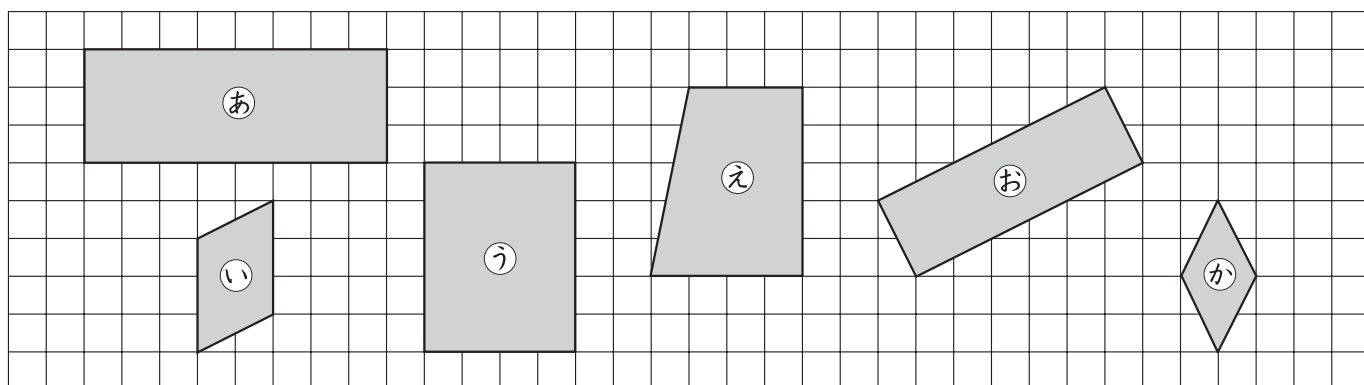
1 () にあてはまることばを書きましょう。

① 4つのかどがみんな直角ちょっかくになっている四角形しかくけいを ()

といいます。

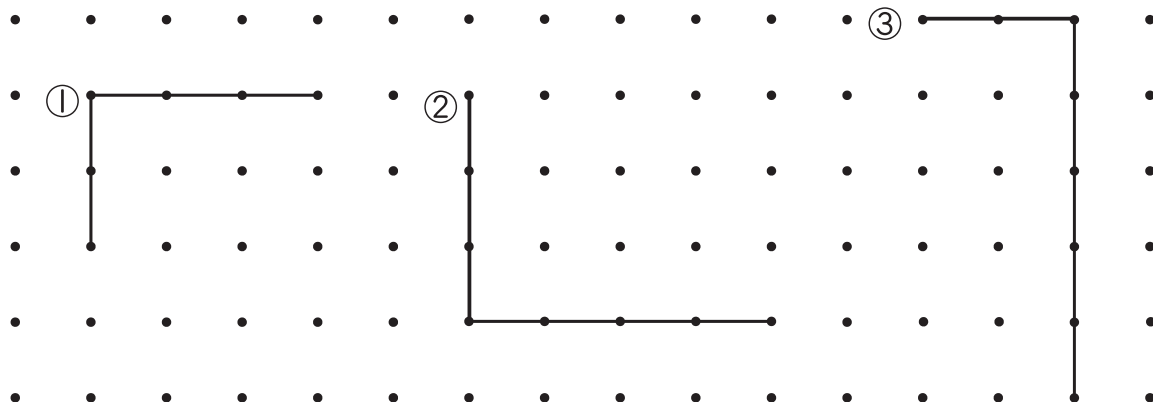
② 長方形ちやうほうけいでは、むかい合あっている辺へんの長さながは () です。③ 長方形では、となり合あっている辺の長さながは () ます。

2 長方形を見つけましょう。



こた 答え ()

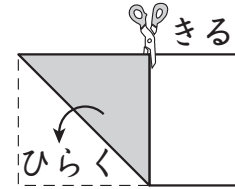
3 のこりの辺をかいて、長方形をかんせいさせましょう。



9 三角形と四角形 ⑤

な
ま
え**ねらい** 正方形の意味、性質、辺の相等関係を理解する。

- ① 長^{ちやうほうけい}方形の紙を、右のよう^{かみ}におってから、
切^きってひらくと、何^{なん}という形^{かたち}が
できるでしょうか。

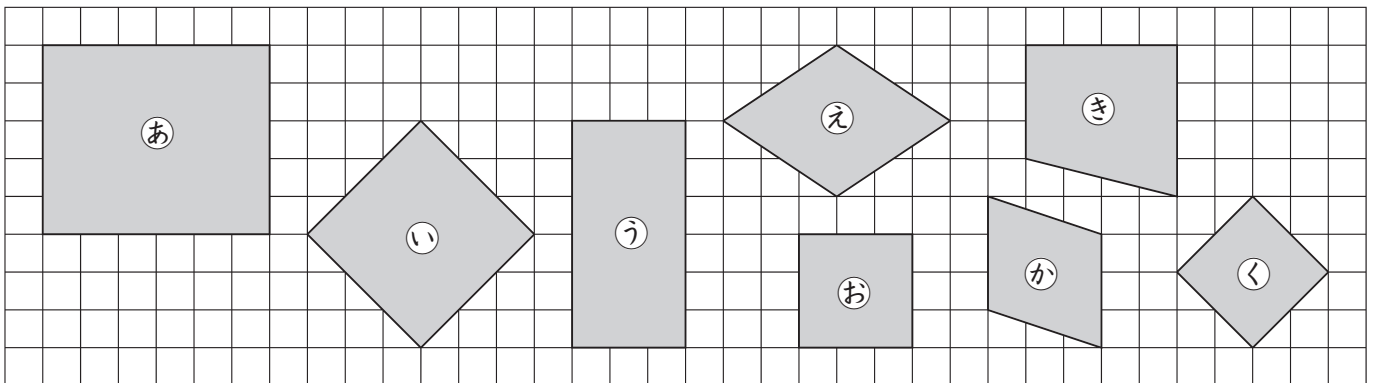


こた 答え ()

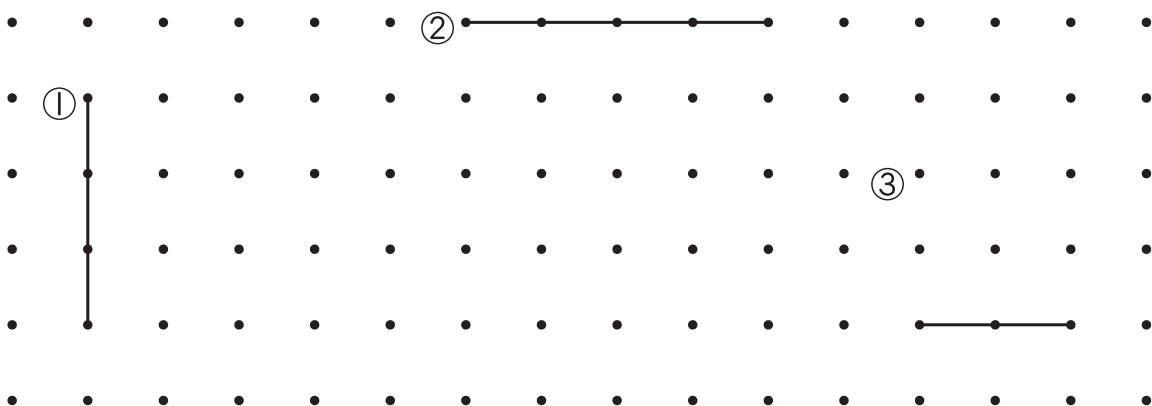
- ② () にあてはまることばを書きましょう。

正^{せいほうけい}方形は、4つのかどがみんな () で、
4つの^{へん}辺の^{なが}長さがみんな () 四角形です。

- ③ 正方形を見つけましょう。 答え ()



- ④ つぎのような辺のある正方形をかきます。
のこりの辺をかいて、正方形をかんせいさせましょう。



9 三角形と四角形 ⑥

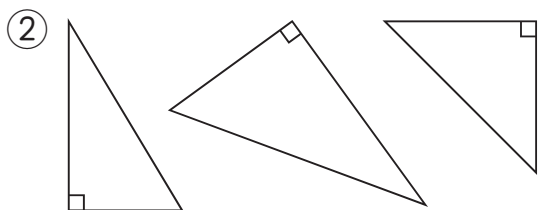
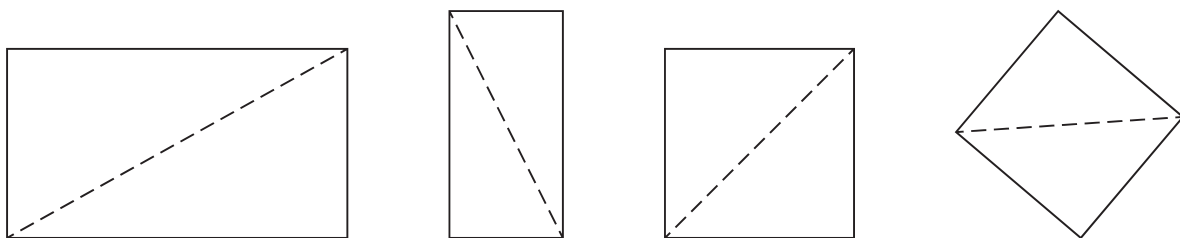
な
ま
え

ねらい 直角三角形の意味、性質を理解する。

□にあてはまる数を、() にはあてはまることばを書きましょう。

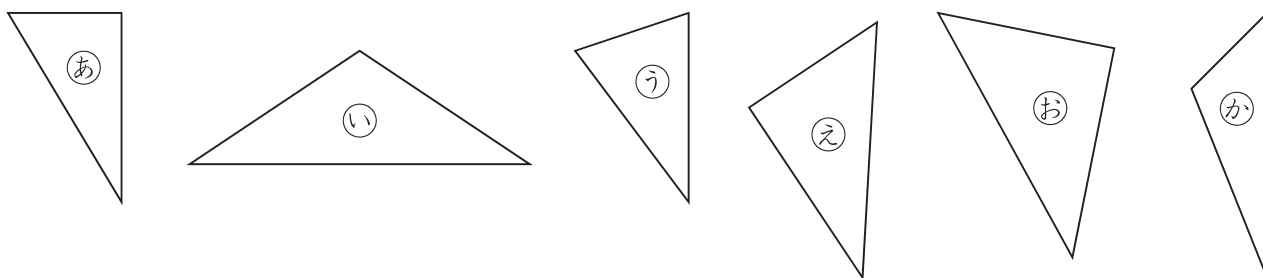
① 長方形や正方形の紙を-----の直線で切ると、

同じ形の三角形が つできます。



左の図のように、() の
かどがある三角形を
() といいます。

② 直角三角形を見つけましょう。□にあてはまる記号、() には
あてはまることばを書きましょう。



直角三角形は と と です。

直角三角形でない と と は、

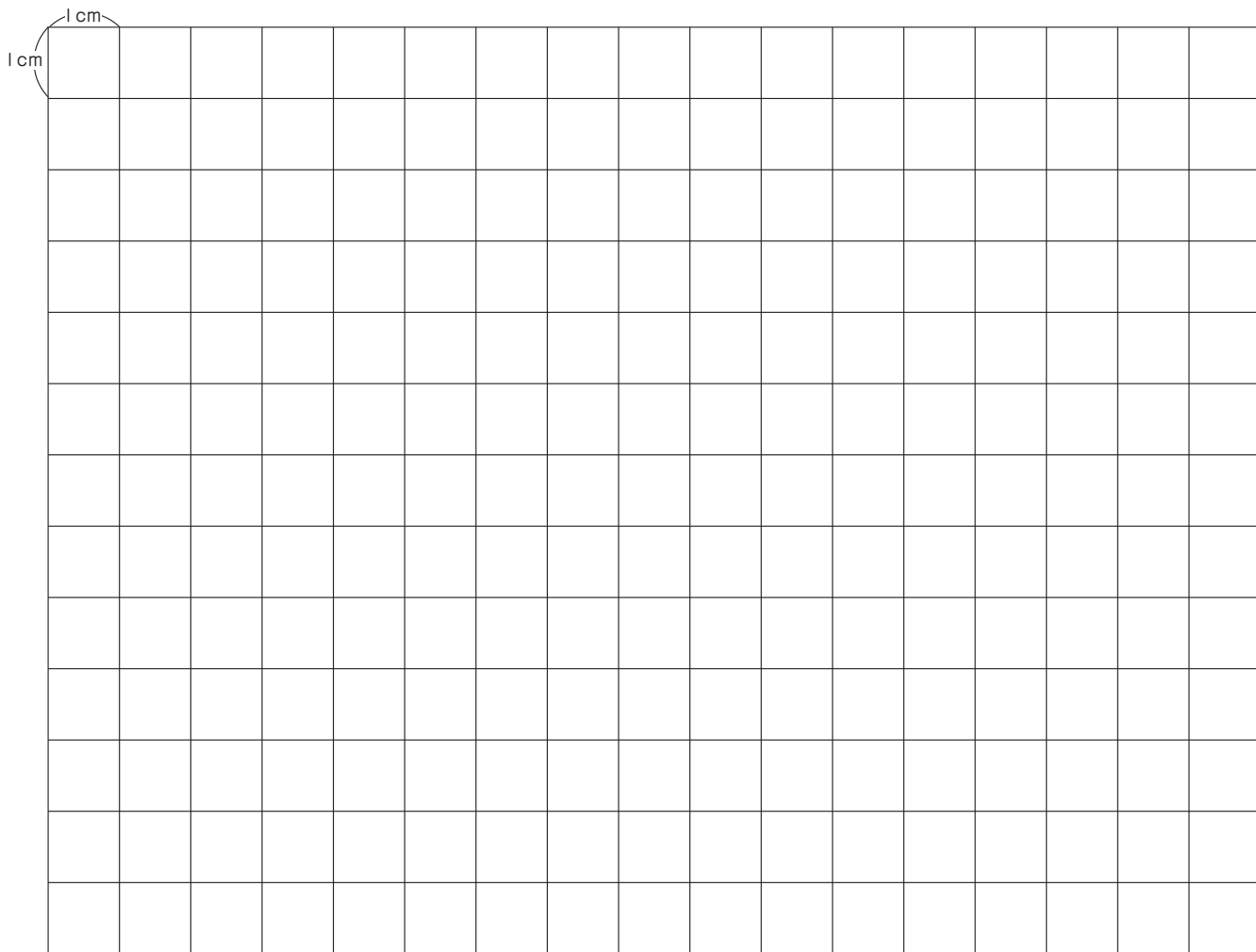
() のかどがありません。

9 三角形と四角形 ⑦

な
ま
え**ねらい** 方眼を使って、長方形、正方形、直角三角形を作図することができる。I つぎの^{かたち}形を、下の^{ほう}方がんにかきましょう。

- ① 2つの^{へん}辺の^{なが}長さが3cmと4cmの^{ちようほうけい}長方形
- ② 1つの^{へん}辺の^{なが}長さが5cmの^{せいほうけい}正方形
- ③ ^{ちよくかく}直角になる2つの^{へん}辺の^{なが}長さが
3cmと5cmの^{ちよくかく}直角三角形
- ④ あいているところに長方形、
正方形、直角三角形をかきましょう。

^{ずけい}図形の^{みかた}見方の^{たいせつ}大切なこと
 ★かどの形
 ★辺の長さ
 を、かいたあと
 かならず たしかめましょう。

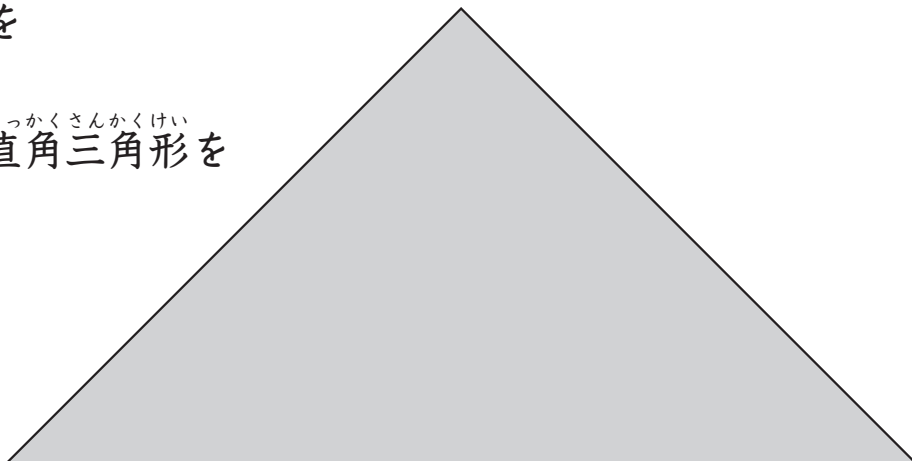


★ 算数ワールド
タングラムな
ま
え

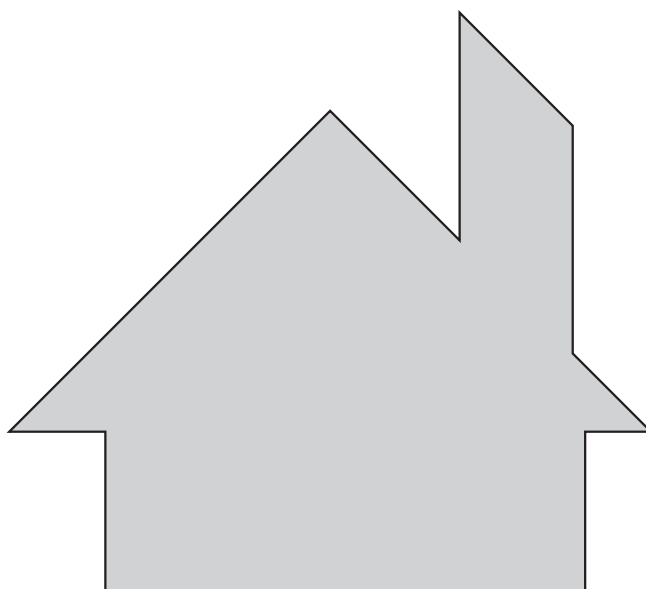
ねらい 図形の感覚を豊かにする。

Ⅰ ^{きょう かしょ}教科書149ページの^{がみ}あつ紙をつかって、下の^{かたち}形をつく^{つく}きましょう。

- ① 7まいのあつ紙を
ぜんぶつかって、
右のような大きな^{ちよつかくさんかくけい}直角三角形を
作りましょう。



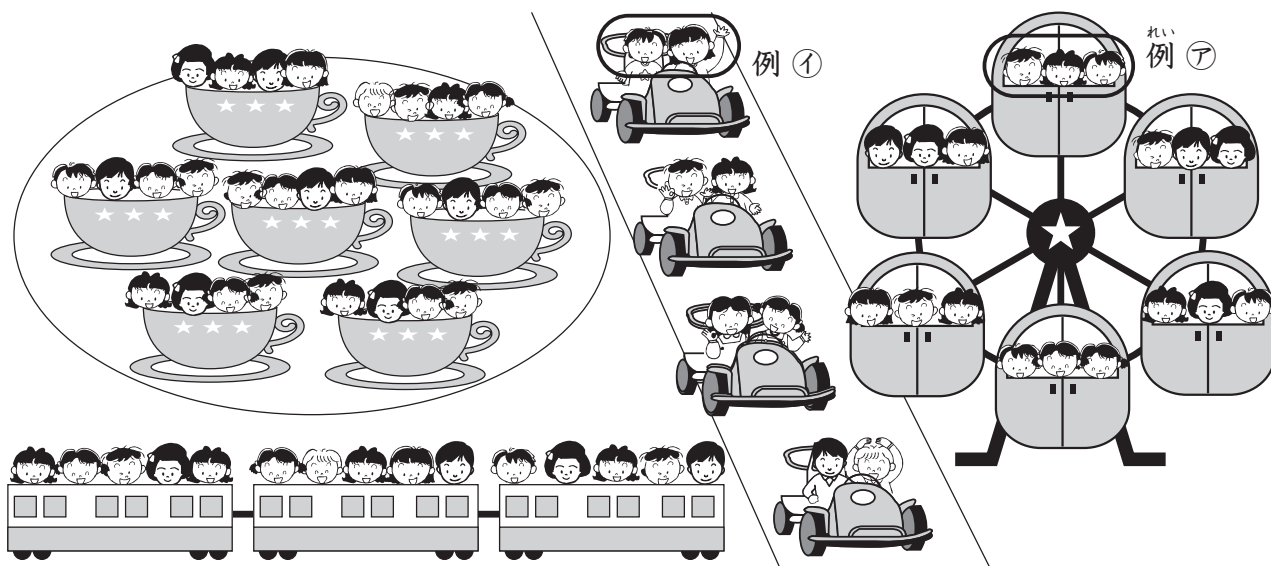
- ② 7まいのあつ紙を
ぜんぶつかって、
右のようないえの形を
作りましょう。



10 かけ算 ①

なまえ

ねらい 乗法の意味について理解する。



1 かんらん^{しゃ}車には、何人^{なん}のっているでしょうか。

① 例^{れい}アのように、のっている人を○でかこみましょう。

② 同じ数^{おな かず}のまとまりがいくつあるでしょうか。

□の中にあてはまる数を書きましょう。

□人ずつが□^{だいぶん}台分で、□人です。

2 ^{くるま}車には、何人^{なん}のっているでしょうか。

① 例①のように、のっている人を○でかこみましょう。

② 同じまとまりがいくつあるでしょうか。

□の中にあてはまる数を書きましょう。

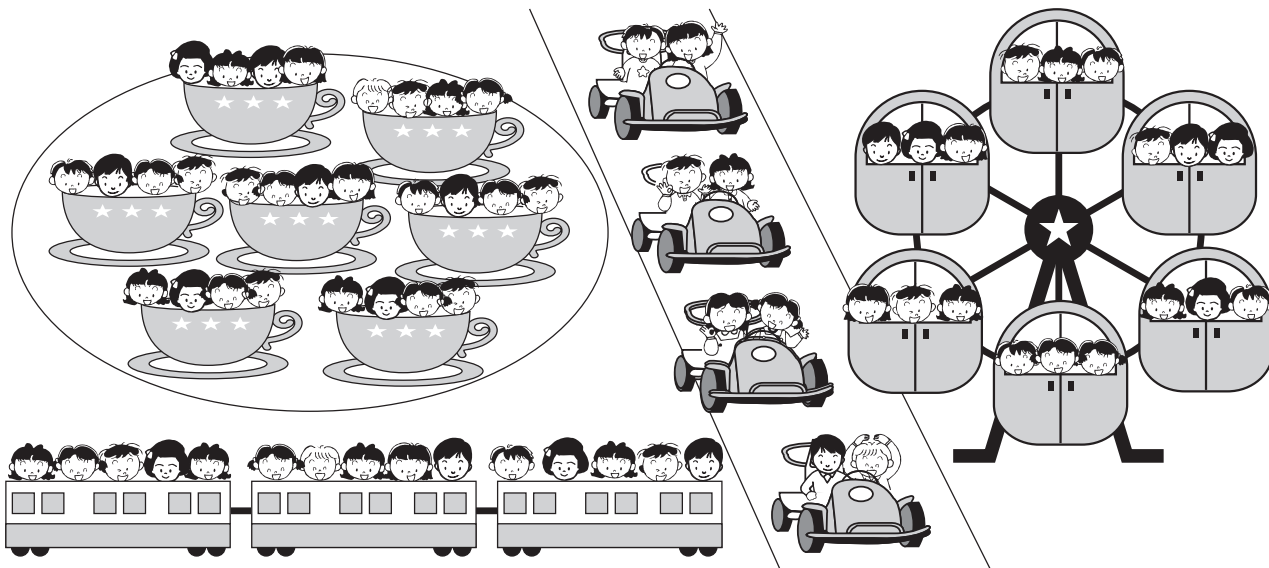
□人ずつ□台分で□人です。

10 かけ算 ②

な
ま
え

ねらい 1つ分の数といくつ分を確かめて、1つ分の数×いくつ分という「かけ算」の式に表すことができる。

I のりもののにのっている人数を式にあらわしましょう。



①  には、
1つ分の数 人ずつ いくつ分 台分で ぜんぶの数 人のっています。

式 1つ分の数 × いくつ分 = ぜんぶの数

②  には、
 人ずつ 台分で 人のっています。

式 × =

③  には、
 人ずつ こ分で 人のっています。

式 × =

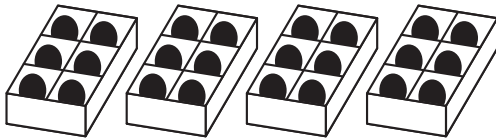
10 かけ算 ③

な
ま
え

ねらい 乗法の式について理解を深める。

1 かけ算の式にあらわしましょう。□にあてはまる数を書きましょう。

①

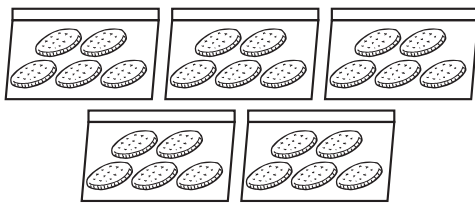


式

□ こずつ □ はこだから

□ × □

②

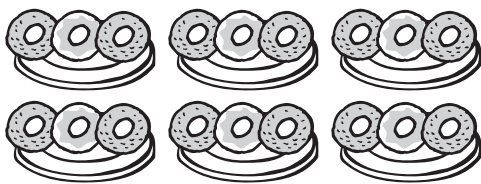


式

□ まいずつ □ ふくろだから

□ × □

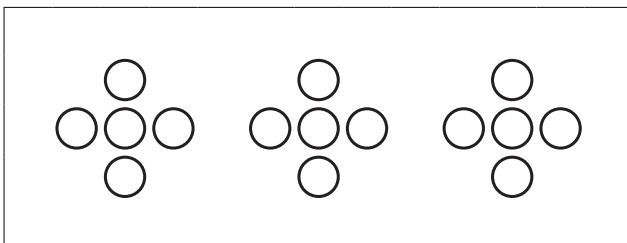
③

1 さら分ぶんの数は □ こで □ さら分

だから、式は □

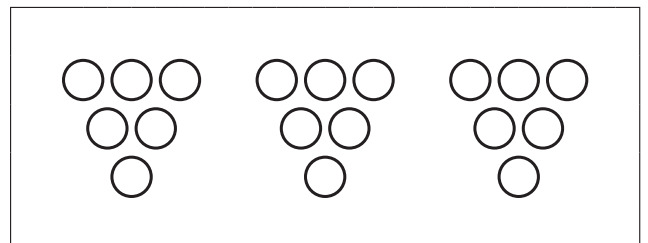
2 かけ算の式にあらわしましょう。

①



()

②



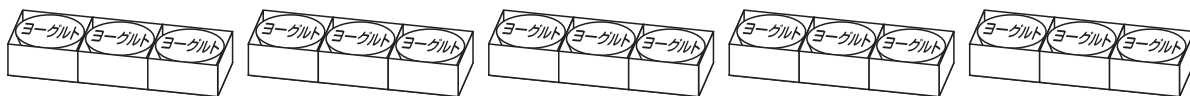
()

10 かけ算 ④

な
ま
え

ねらい 乗法の答えの求め方を理解する。

- ① ヨーグルトが3こずつ入ったはこが5はこあります。
ヨーグルトは、ぜんぶで何こあるでしょうか。



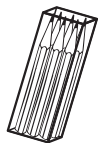
- ① かけ算の式にあらわしましょう。 式

- ② かけ算の答えをたし算でもとめます。
□にあてはまる数を書きましょう。

$$\square + \square + \square + \square + \square = \square \quad \text{答え} \underline{\hspace{2cm}}$$

- ② かけ算の式にあらわして、答えをもとめましょう。

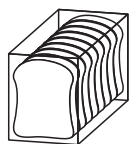
- ① えんぴつが6本ずつ入ったはこが3はこあります。
えんぴつはぜんぶで何本あるでしょうか。

式

答えをもとめる式

答え

- ② しょくパンが8まいずつ入っているふくろが2ふくろあります。
しょくパンはぜんぶで何まいあるでしょうか。

式

答えをもとめる式

答え

ねらい 具体的な場面を表現するのに、乗法の式を用いることができる。

Ⅰ つぎのもんだいの、式や答えをくらべましょう。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㜀 㜁 㜂 㜃 㜄 㜅 㜆 㜇 㜈 㜉 㜊 㜋 㜌 㜍 㜎 㜏 㜐 㜑 㜒 㜓 㜔 㜕 㜖 㜗 㜘 㜙 㜚 㜛 㜜 㜝 㜞 㜟 㜠 㜡 㜢 㜣 㜤 㜥 㜦 㜧 㜨 㜩 㜪 㜫 㜬 㜭 㜮 㜯 㜰 㜱 㜲 㜳 㜴 㜵 㜶 㜷 㜸 㜹 㜺 㜻 㜼 㜽 㜾 㜿 㝀 㝁 㝂 㝃 㝄 㝅 㝆 㝇 㝈 㝉 㝊 㝋 㝌 㝍 㝎 㝏 㝐 㝑 㝒 㝓 㝔 㝕 㝖 㝗 㝘 㝙 㝚 㝛 㝜 㝝 㝞 㝟 㝠 㝡 㝢 㝣 㝤 㝥 㝦 㝧 㝨 㝩 㝪 㝫 㝬 㝭 㝮 㝯 㝰 㝱 㝲 㝳 㝴 㝵 㝶 㝷 㝸 㝹 㝺 㝻 㝼 㝽 㝾 㝿 㞀 㞁 㞂 㞃 㞄 㞅 㞆 㞇 㞈 㞉 㞊 㞋 㞌 㞍 㞎 㞏 㞐 㞑 㞒 㞓 㞔 㞕 㞖 㞗 㞘 㞙 㞚 㞛 㞜 㞝 㞞 㞟 㞠 㞡 㞢 㞣 㞤 㞥 㞦 㞧 㞨 㞩 㞪 㞫 㞬 㞭 㞮 㞯 㞰 㞱 㞲 㞳 㞴 㞵 㞶 㞷 㞸 㞹 㞺 㞻 㞼 㞽 㞾 㞿 㟀 㟁 㟂 㟃 㟄 㟅 㟆 㟇 㟈 㟉 㟊 㟋 㟌 㟍 㟎 㟏 㟐 㟑 㟒 㟓 㟔 㟕 㟖 㟗 㟘 㟙 㟚 㟛 㟜 㟝 㟞 㟟 㟠 㟡 㟢 㟣 㟤 㟥 㟦 㟧 㟨 㟩 㟪 㟫 㟬 㟭 㟮 㟯 㟰 㟱 㟲 㟳 㟴 㟵 㟶 㟷 㟸 㟹 㟺 㟻 㟼 㟽 㟾 㟿 㠀 㠁 㠂 㠃 㠄 㠅 㠆 㠇 㠈 㠉 㠊 㠋 㠌 㠍 㠎 㠏 㠐 㠑 㠒 㠓 㠔 㠕 㠖 㠗 㠘 㠙 㠚 㠛 㠜 㠝 㠞 㠟 㠠 㠡 㠢 㠣 㠤 㠥 㠦 㠧 㠨 㠩 㠪 㠫 㠬 㠭 㠮 㠯 㠰 㠱 㠲 㠳 㠴 㠵 㠶 㠷 㠸 㠹 㠺 㠻 㠼 㠽 㠾 㠿 㡀 㡁 㡂 㡃 㡄 㡅 㡆 㡇 㡈 㡉 㡊 㡋 㡌 㡍 㡎 㡏 㡐 㡑 㡒 㡓 㡔 㡕 㡖 㡗 㡘 㡙 㡚 㡛 㡜 㡝 㡞 㡟 㡠 㡡 㡢 㡣 㡤 㡥 㡦 㡧 㡨 㡩 㡪 㡫 㡬 㡭 㡮 㡯 㡰 㡱 㡲 㡳 㡴 㡵 㡶 㡷 㡸 㡹 㡺 㡻 㡼 㡽 㡾 㡿 㢀 㢁 㢂 㢃 㢄 㢅 㢆 㢇 㢈 㢉 㢊 㢋 㢌 㢍 㢎 㢏 㢐 㢑 㢒 㢓 㢔 㢕 㢖 㢗 㢘 㢙 㢚 㢛 㢜 㢝 㢞 㢟 㢠 㢡 㢢 㢣 㢤 㢥 㢦 㢧 㢨 㢩 㢪 㢫 㢬 㢭 㢮 㢯 㢰 㢱 㢲 㢳 㢴 㢵 㢶 㢷 㢸 㢹 㢺 㢻 㢼 㢽 㢾 㢿 㣀 㣁 㣂 㣃 㣄 㣅 㣆 㣇 㣈 㣉 㣊 㣋 㣌 㣍 㣎 㣏 㣐 㣑 㣒 㣓 㣔 㣕 㣖 㣗 㣘 㣙 㣚 㣛 㣜 㣝 㣞 㣟 㣠 㣡 㣢 㣣 㣤 㣥 㣦 㣧 㣨 㣩 㣪 㣫 㣬 㣭 㣮 㣯 㣰 㣱 㣲 㣳 㣴 㣵 㣶 㣷 㣸 㣹 㣺 㣻 㣼 㣽 㣾 㣿 㤀 㤁 㤂 㤃 㤄 㤅 㤆 㤇 㤈 㤉 㤊 㤋 㤌 㤍 㤎 㤏 㤐 㤑 㤒 㤓 㤔 㤕 㤖 㤗 㤘 㤙 㤚 㤛 㤜 㤝 㤞 㤟 㤠 㤡 㤢 㤣 㤤 㤥 㤦 㤧 㤨 㤩 㤪 㤫 㤬 㤭 㤮 㤯 㤰 㤱 㤲 㤳 㤴 㤵 㤶 㤷 㤸 㤹 㤺 㤻 㤼 㤽 㤾 㤿 㥀 㥁 㥂 㥃 㥄 㥅 㥆 㥇 㥈 㥉 㥊 㥋 㥌 㥍 㥎 㥏 㥐 㥑 㥒 㥓 㥔 㥕 㥖 㥗 㥘 㥙 㥚 㥛 㥜 㥝 㥞 㥟 㥠 㥡 㥢 㥣 㥤 㥥 㥦 㥧 㥨 㥩 㥪 㥫 㥬 㥭 㥮 㥯 㥰 㥱 㥲 㥳 㥴 㥵 㥶 㥷 㥸 㥹 㥺 㥻 㥼 㥽 㥾 㥿 㦀 㦁 㦂 㦃 㦄 㦅 㦆 㦇 㦈 㦉 㦊 㦋 㦌 㦍 㦎 㦏 㦐 㦑 㦒 㦓 㦔 㦕 㦖 㦗 㦘 㦙 㦚 㦛 㦜 㦝 㦞 㦟 㦠 㦡 㦢 㦣 㦤 㦥 㦦 㦧 㦨 㦩 㦪 㦫 㦬 㦭 㦮 㦯 㦰 㦱 㦲 㦳 㦴 㦵 㦶 㦷 㦸 㦹 㦺 㦻 㦼 㦽 㦾 㦿 㧀 㧁 㧂 㧃 㧄 㧅 㧆 㧇 㧈 㧉 㧊 㧋 㧌 㧍 㧎 㧏 㧐 㧑 㧒 㧓 㧔 㧕 㧖 㧗 㧘 㧙 㧚 㧛 㧜 㧝 㧞 㧟 㧠 㧡 㧢 㧣 㧤 㧥 㧦 㧧 㧨 㧩 㧪 㧫 㧬 㧭 㧮 㧯 㧰 㧱 㧲 㧳 㧴 㧵 㧶 㧷 㧸 㧹 㧺 㧻 㧼 㧽 㧾 㧿 㨀 㨁 㨂 㨃 㨄 㨅 㨆 㨇 㨈 㨉 㨊 㨋 㨌 㨍 㨎 㨏 㨐 㨑 㨒 㨓 㨔 㨕 㨖 㨗 㨘 㨙 㨚 㨛 㨜 㨝 㨞 㨟 㨠 㨡 㨢 㨣 㨤 㨥 㨦 㨧 㨨 㨩 㨪 㨫 㨬 㨭 㨮 㨯 㨰 㨱 㨲 㨳 㨴 㨵 㨶 㨷 㨸 㨹 㨺 㨻 㨼 㨽 㨾 㨿 㩀 㩁 㩂 㩃 㩄 㩅 㩆 㩇 㩈 㩉 㩊 㩋 㩌 㩍 㩎 㩏 㩐 㩑 㩒 㩓 㩔 㩕 㩖 㩗 㩘 㩙 㩚 㩛 㩜 㩝 㩞 㩟 㩠 㩡 㩢 㩣 㩤 㩥 㩦 㩧 㩨 㩩 㩪 㩫 㩬 㩭 㩮 㩯 㩰 㩱 㩲 㩳 㩴 㩵 㩶 㩷 㩸 㩹 㩺 㩻 㩼 㩽 㩾 㩿 㪀 㪁 㪂 㪃 㪄 㪅 㪆 㪇 㪈 㪉 㪊 㪋 㪌 㪍 㪎 㪏 㪐 㪑 㪒 㪓 㪔 㪕 㪖 㪗 㪘 㪙 㪚 㪛 㪜 㪝 㪞 㪟 㪠 㪡 㪢 㪣 㪤 㪥 㪦 㪧 㪨 㪩 㪪 㪫 㪬 㪭 㪮 㪯 㪰 㪱 㪲 㪳 㪴 㪵 㪶 㪷 㪸 㪹 㪺 㪻 㪼 㪽 㪾 㪿 㫀 㫁 㫂 㫃 㫄 㫅 㫆 㫇 㫈 㫉 㫊 㫋 㫌 㫍 㫎 㫏 㫐 㫑 㫒 㫓 㫔 㫕 㫖 㫗 㫘 㫙 㫚 㫛 㫜 㫝 㫞 㫟 㫠 㫡 㫢 㫣 㫤 㫥 㫦 㫧 㫨 㫩 㫪 㫫 㫬 㫭 㫮 㫯 㫰 㫱 㫲 㫳 㫴 㫵 㫶 㫷 㫸 㫹 㫺 㫻 㫼 㫽 㫾 㫿 㬀 㬁 㬂 㬃 㬄 㬅 㬆 㬇 㬈 㬉 㬊 㬋 㬌 㬍 㬎 㬏 㬐 㬑 㬒 㬓 㬔 㬕 㬖 㬗 㬘 㬙 㬚 㬛 㬜 㬝 㬞 㬟 㬠 㬡 㬢 㬣 㬤 㬥 㬦 㬧 㬨 㬩 㬪 㬫 㬬 㬭 㬮 㬯 㬰 㬱 㬲 㬳 㬴 㬵 㬶 㬷 㬸 㬹 㬺 㬻 㬼 㬽 㬾 㬿 㭀 㭁 㭂 㭃 㭄 㭅 㭆 㭇 㭈 㭉 㭊 㭋 㭌 㭍 㭎 㭏 㭐 㭑 㭒 㭓 㭔 㭕 㭖 㭗 㭘 㭙 㭚 㭛 㭜 㭝 㭞 㭟 㭠 㭡 㭢 㭣 㭤 㭥 㭦 㭧 㭨 㭩 㭪 㭫 㭬 㭭 㭮 㭯 㭰 㭱 㭲 㭳 㭴 㭵 㭶 㭷 㭸 㭹 㭺 㭻 㭼 㭽 㭾 㭿 㮀 㮁 㮂 㮃 㮄 㮅 㮆 㮇 㮈 㮉 㮊 㮋 㮌 㮍 㮎 㮏 㮐 㮑 㮒 㮓 㮔 㮕 㮖 㮗 㮘 㮙 㮚 㮛 㮜 㮝 㮞 㮟 㮠 㮡 㮢 㮣 㮤 㮥 㮦 㮧 㮨 㮩 㮪 㮫 㮬 㮭 㮮 㮯 㮰 㮱 㮲 㮳 㮴 㮵 㮶 㮷 㮸 㮹 㮺 㮻 㮼 㮽 㮾 㮿 㯀 㯁 㯂 㯃 㯄 㯅 㯆 㯇 㯈 㯉 㯊 㯋 㯌 㯍 㯎 㯏 㯐 㯑 㯒 㯓 㯔 㯕 㯖 㯗 㯘 㯙 㯚 㯛 㯜 㯝 㯞 㯟 㯠 㯡 㯢 㯣 㯤 㯥 㯦 㯧 㯨 㯩 㯪 㯫 㯬 㯭 㯮 㯯 㯰 㯱 㯲 㯳 㯴 㯵 㯶 㯷 㯸 㯹 㯺 㯻 㯼 㯽 㯾 㯿 㰀 㰁 㰂 㰃 㰄 㰅 㰆 㰇 㰈 㰉 㰊 㰋 㰌 㰍 㰎 㰏 㰐 㰑 㰒 㰓 㰔 㰕 㰖 㰗 㰘 㰙 㰚 㰛 㰜 㰝 㰞 㰟 㰠 㰡 㰢 㰣 㰤 㰥 㰦 㰧 㰨 㰩 㰪 㰫 㰬 㰭 㰮 㰯 㰰 㰱 㰲 㰳 㰴 㰵 㰶 㰷 㰸 㰹 㰺 㰻 㰼 㰽 㰾 㰿 㱀 㱁 㱂 㱃 㱄 㱅 㱆 㱇 㱈 㱉 㱊 㱋 㱌 㱍 㱎 㱏 㱐 㱑 㱒 㱓 㱔 㱕 㱖 㱗 㱘 㱙 㱚 㱛 㱜 㱝 㱞 㱟 㱠 㱡 㱢 㱣 㱤 㱥 㱦 㱧 㱨 㱩 㱪 㱫 㱬 㱭 㱮 㱯 㱰 㱱 㱲 㱳 㱴 㱵 㱶 㱷 㱸 㱹 㱺 㱻 㱼 㱽 㱾 㱿 㲀 㲁 㲂 㲃 㲄 㲅 㲆 㲇 㲈 㲉 㲊 㲋 㲌 㲍 㲎 㲏 㲐 㲑 㲒 㲓 㲔 㲕 㲖 㲗 㲘 㲙 㲚 㲛 㲜 㲝 㲞 㲟 㲠 㲡 㲢 㲣 㲤 㲥 㲦 㲧 㲨 㲩 㲪 㲫 㲬 㲭 㲮 㲯 㲰 㲱 㲲 㲳 㲴 㲵 㲶 㲷 㲸 㲹 㲺 㲻 㲼 㲽 㲾 㲿 㳀 㳁 㳂 㳃 㳄 㳅 㳆 㳇 㳈 㳉 㳊 㳋 㳌 㳍 㳎 㳏 㳐 㳑 㳒 㳓 㳔 㳕 㳖 㳗 㳘 㳙 㳚 㳛 㳜 㳝 㳞 㳟 㳠 㳡 㳢 㳣 㳤 㳥 㳦 㳧 㳨 㳩 㳪 㳫 㳬 㳭 㳮 㳯 㳰 㳱 㳲 㳳 㳴 㳵 㳶 㳷 㳸 㳹 㳺 㳻 㳼 㳽 㳾 㳿 㴀 㴁 㴂 㴃 㴄 㴅 㴆 㴇 㴈 㴉 㴊 㴋 㴌 㴍 㴎 㴏 㴐 㴑 㴒 㴓 㴔 㴕 㴖 㴗 㴘 㴙 㴚 㴛 㴜 㴝 㴞 㴟 㴠 㴡 㴢 㴣 㴤 㴥 㴦 㴧 㴨 㴩 㴪 㴫 㴬 㴭 㴮 㴯 㴰 㴱 㴲 㴳 㴴 㴵 㴶 㴷 㴸 㴹 㴺 㴻 㴼 㴽 㴾 㴿 㵀 㵁 㵂 㵃 㵄 㵅 㵆 㵇 㵈 㵉 㵊 㵋 㵌 㵍 㵎 㵏 㵐 㵑 㵒 㵓 㵔 㵕 㵖 㵗 㵘 㵙 㵚 㵛 㵜 㵝 㵞 㵟 㵠 㵡 㵢 㵣 㵤 㵥 㵦 㵧 㵨 㵩 㵪 㵫 㵬 㵭 㵮 㵯 㵰 㵱 㵲 㵳 㵴 㵵 㵶 㵷 㵸 㵹 㵺 㵻 㵼 㵽 㵾 㵿 㶀 㶁 㶂 㶃 㶄 㶅 㶆 㶇 㶈 㶉 㶊 㶋 㶌 㶍 㶎 㶏 㶐 㶑 㶒 㶓 㶔 㶕 㶖 㶗 㶘 㶙 㶚 㶛 㶜 㶝 㶞 㶟 㶠 㶡 㶢 㶣 㶤 㶥 㶦 㶧 㶨 㶩 㶪 㶫 㶬 㶭 㶮 㶯 㶰 㶱 㶲 㶳 㶴 㶵 㶶 㶷 㶸 㶹 㶺 㶻 㶼 㶽 㶾 㶿 㷀 㷁 㷂 㷃 㷄 㷅 㷆 㷇 㷈 㷉 㷊 㷋 㷌 㷍 㷎 㷏 㷐 㷑 㷒 㷓 㷔 㷕 㷖 㷗 㷘 㷙 㷚 㷛 㷜 㷝 㷞 㷟 㷠 㷡 㷢 㷣 㷤 㷥 㷦 㷧 㷨 㷩 㷪 㷫 㷬 㷭 㷮 㷯 㷰 㷱 㷲 㷳 㷴 㷵 㷶 㷷 㷸 㷹 㷺 㷻 㷼 㷽 㷾 㷿 㸀 㸁 㸂 㸃 㸄 㸅 㸆 㸇 㸈 㸉 㸊 㸋 㸌 㸍 㸎 㸏 㸐 㸑 㸒 㸓 㸔 㸕 㸖 㸗 㸘 㸙 㸚 㸛 㸜 㸝 㸞 㸟 㸠 㸡 㸢 㸣 㸤 㸥 㸦 㸧 㸨 㸩 㸪 㸫 㸬 㸭 㸮 㸯 㸰 㸱 㸲 㸳 㸴 㸵 㸶 㸷 㸸 㸹 㸺 㸻 㸼 㸽 㸾 㸿 㹀 㹁 㹂 㹃 㹄 㹅 㹆 㹇 㹈 㹉 㹊 㹋 㹌 㹍 㹎 㹏 㹐 㹑 㹒 㹓 㹔 㹕 㹖 㹗 㹘 㹙 㹚 㹛 㹜 㹝 㹞 㹟 㹠 㹡 㹢 㹣 㹤 㹥 㹦 㹧 㹨 㹩 㹪 㹫 㹬 㹭 㹮 㹯 㹰 㹱 㹲 㹳 㹴 㹵 㹶 㹷 㹸 㹹 㹺 㹻 㹼 㹽 㹿 㺀 㺁 㺂 㺃 㺄 㺅 㺆 㺇 㺈 㺉 㺊 㺋 㺌 㺍 㺎 㺏 㺐 㺑 㺒 㺓 㺔 㺕 㺖 㺗 㺘 㺙 㺚 㺛 㺜 㺝 㺞 㺟 㺠 㺡 㺢 㺣 㺤 㺥 㺦 㺧 㺨 㺩 㺪 㺫 㺬 㺭 㺮 㺯 㺰 㺱 㺲 㺳 㺴 㺵 㺶 㺷 㺸 㺹 㺺 㺻 㺼 㺽 㺾 㺿 㻀 㻁 㻂 㻃 㻄 㻅 㻆 㻇 㻈 㻉 㻊 㻋 㻌 㻍 㻎 㻏 㻐 㻑 㻒 㻓 㻔 㻕 㻖 㻗 㻘 㻙 㻚 㻛 㻜 㻝 㻞 㻟 㻠 㻡 㻢 㻣 㻤 㻥 㻦 㻧 㻨 㻩 㻪 㻫 㻬 㻭 㻮 㻯 㻰 㻱 㻲 㻳 㻴 㻵 㻶 㻷 㻸 㻹 㻺 㻻 㻼 㻽 㻾 㻿 㼀 㼁 㼂 㼃 㼄 㼅 㼆 㼇 㼈 㼉 㼊 㼋 㼌 㼍 㼎 㼏 㼐 㼑 㼒 㼓 㼔 㼕 㼖 㼗 㼘 㼙 㼚 㼛 㼜 㼝 㼞 㼟 㼠 㼡 㼢 㼣 㼤 㼥 㼦 㼧 㼨 㼩 㼪 㼫 㼬 㼭 㼮 㼯 㼰 㼱 㼲 㼳 㼴 㼵 㼶 㼷 㼸 㼹 㼺 㼻 㼼 㼽 㼾 㼿 㽀 㽁 㽂 㽃 㽄 㽅 㽆 㽇 㽈 㽉 㽊 㽋 㽌 㽍 㽎 㽏 㽐 㽑 㽒 㽓 㽔 㽕 㽖 㽗 㽘 㽙 㽚 㽛 㽜 㽝 㽞 㽟 㽠 㽡 㽢 㽣 㽤 㽥 㽦 㽧 㽨 㽩 㽪 㽫 㽬 㽭 㽮 㽯 㽰 㽱 㽲 㽳 㽴 㽵 㽶 㽷 㽸 㽹 㽺 㽻 㽼 㽽 㽾 㽿 㿀 㿁 㿂 㿃 㿄 㿅 㿆 㿇 㿈 㿉 㿊 㿋 㿌 㿍 㿎 㿏 㿐 㿑 㿒 㿓 㿔 㿕 㿖 㿗 㿘 㿙 㿚 㿛 㿜

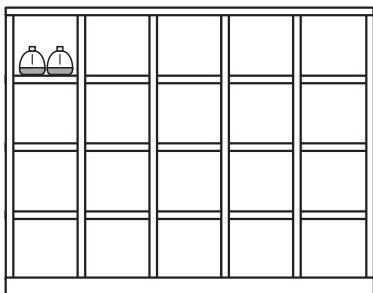
10 かけ算 ⑥

な
ま
え

ねらい 身の回りのものを乗法の式で表すことができる。

Ⅰ みのまわりから、かけ算^{ざん}であらわせるものを見つけて、
式^{しき}と答え^{こた}を書き^かましょう。

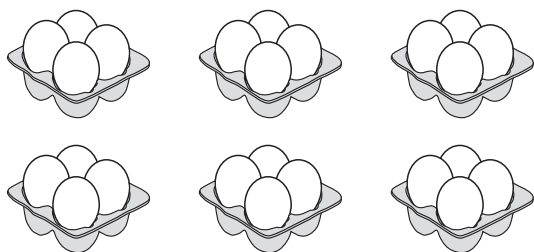
① くつばこは、 こずつ だん分^{ぶん}あります。



式

答え

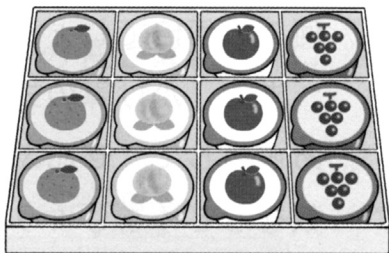
② たまごは、 こずつ パック分あります。



式

答え

③ ゼリーが1れつに こずつ れつ分あります。



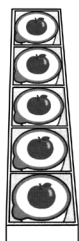
式

答え

ねらい 5の段の九九の構成をすることができる。

Ⅰ ゼリーが1はこに5こずつ入っています。

① 3はこ^{ぶん}分では、ゼリーはぜんぶで何^{なん}こになるでしょうか。



こずつ はこ分

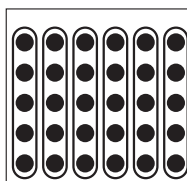
しき $\overset{\text{ぶん}}{\text{1つ分の数}} \times \overset{\text{いくつ分}}{\text{}} = \overset{\text{ぜんぶの数}}{\text{}}$

こた
答え

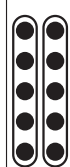
② ●はゼリー1こをあらわしています。ゼリーの^{かず}数をあんざんでもとめます。□にあてはまる数を書きましょう。



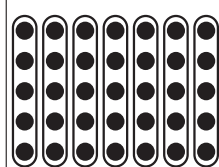
$5 \times 1 = \square$



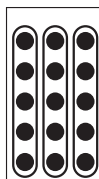
$5 \times 6 = \square$



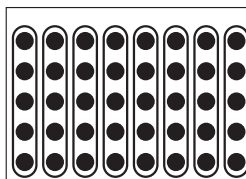
$5 \times 2 = \square$



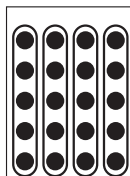
$5 \times 7 = \square$



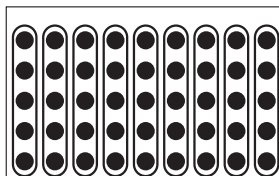
$5 \times 3 = \square$



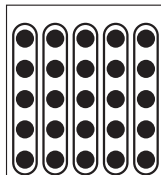
$5 \times 8 = \square$



$5 \times 4 = \square$



$5 \times 9 = \square$



$5 \times 5 = \square$

ねらい 5の段の九九の唱え方を知り、唱えることができる。

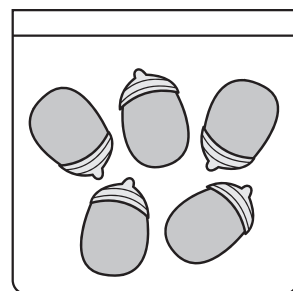
- ① 5のだんの九九をおぼえましょう。□にあてはまる数を書いて、
かけ算の式をかんせいさせて、九九を声に出していきましょう。

5 × 1 = 5	五一が 5	ごいちが 5
5 × □ = 10	五二 10	ごに 10
5 × 3 = 15	五三 15	ごさん 15
5 × 4 = 20	五四 20	ごし 20
5 × □ = 25	五五 25	ごご 25
5 × 6 = □	五六 30	ごろく 30
5 × □ = 35	五七 35	ごしち 35
5 × 8 = □	五八 40	ごは 40
5 × □ = 45	五九 45	ごっく 45

- ② どんぐりが1ふくろに5こずつ入ったふくろが
9ふくろあります。どんぐりはぜんぶで何こあるでしょうか。

式

こた
答え



ねらい 5の段の九九をカードを用いて唱えることができる。

Ⅰ 5のだんの九九のカードをつくりましょう。

- ① 5×1 から 5×9 まで、じゅんばんにカードのおもての式と
うらの^{こた}答えをかんせいさせましょう。

〔じゅんばんにならんだカード〕
おもて うら

5×1	
$5 \times$	10
5×3	
5×4	
$5 \times$	
$5 \times$	30
$5 \times$	
$5 \times$	40
5×9	

- ② 答えは ずつふえています。

- ③ 5×8 の答え は、 5×7 の
答え より 大きく
なっています。

- ④ じゅんばんがばらばらに
なっているカードのおもての式と
うらの答えがあうように
^か書きましょう。

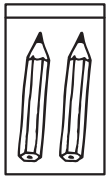
〔じゅんばんがばらばらのカード〕
おもて うら

5×7	
$5 \times$	15
$5 \times$	25
$5 \times$	45
5×8	

ねらい 2の段の九九の構成をすることができる。

Ⅰ えんぴつが2本ずつ入ったふくろが6ふくろあります。

① えんぴつはぜんぶで何本あるでしょうか。



□

 本ずつの

□

 ふくろ分

しき
式

ぶん かず
1つ分の数
□

×

いくつ分
□

=

ぜんぶの数
□

こた
答え

② ●はえんぴつ1本をあらわしています。えんぴつのかずを
あんざんでもとめます。□にあてはまる数を書きましょう。

●	$2 \times 1 = \square$		答えは ずつ ふえています。
●●	$2 \times 2 = \square$		
●●●	$2 \times 3 = \square$		
●●●●	$2 \times 4 = \square$		
●●●●●	$2 \times 5 = \square$		
●●●●●●	$2 \times 6 = \square$		2×6 の答え は 2×7 の答え より 小さく なっています。
●●●●●●●	$2 \times 7 = \square$		
●●●●●●●●	$2 \times 8 = \square$		
●●●●●●●●●	$2 \times 9 = \square$		

10 かけ算 ⑪

な
ま
え**ねらい** 2の段の九九の唱え方を知り、唱えることができる。

- ① 2のだんの九九をおぼえましょう。□にあてはまる数を書いて、
かけ算の式をかんせいさせて、九九を声に出していきましょう。

$$2 \times 1 = 2$$

二一が 2

にいちが 2

$$2 \times 2 = \square$$

二二が 4

ににんが 4

$$2 \times \square = 6$$

二三が 6

にさんが 6

$$2 \times 4 = 8$$

二四が 8

にしが 8

$$2 \times 5 = 10$$

二五 10

にご 10

$$2 \times \square = 12$$

二六 12

にろく 12

$$2 \times 7 = \square$$

二七 14

にしち 14

$$2 \times \square = 16$$

二八 16

にはち 16

$$2 \times 9 = \square$$

二九 18

にく 18

こた
答えが10より小さいときは、
答えの前に「が」がつきます。

- ② 1人が2こずつボールをはこびます。
9人では、ぜんぶで何このボールをはこぶことができるでしょうか。

式

答え

ねらい 2の段の九九をカードを用いて唱えることができる。

- ① 2のだんの九九のカードをつくりましょう。カードのおもての式と
うらの答えをかんせいさせましょう。

① 〈じゅんばんにならんだカード〉

おもて

うら

2×1

2×2

2×3

$2 \times$

2×5

$2 \times$

$2 \times$

2×8

$2 \times$

8

18

② 〈じゅんばんがばらばらのカード〉

おもて

うら

2×4

2×9

$2 \times$

$2 \times$

2×5

14

2

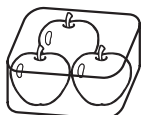
- ② チョコレートを1人に
2こずつ8人にくばります。
チョコレートはぜんぶで何こ
あればよいでしょうか。

式

答え

ねらい 3の段の九九の構成をすることができる。

- ① りんごが3こずつ入ったパックが6パックあります。



- ① りんごはぜんぶで何^{なん}こあるでしょうか。

し
き
式

こた
答え

- ② 3×1 から 3×9 までの^{こた}答えをもとめましょう。
右の□にあてはまる^{かず}数^かを書きましょう。

$$3 \times 1 = \boxed{3}$$

$$3 \times 2 = \boxed{}$$

- ③ 右の式を見ながら、□にあてはまる数を、
() にはあてはまることばを書きましょう。

$$3 \times 3 = \boxed{}$$

$$3 \times 4 = \boxed{}$$

- ① 3×6 の式で

3を() 数といい、

6を() 数と

いいます。

$$3 \times 5 = \boxed{}$$

$$3 \times 6 = \boxed{}$$

$$3 \times 7 = \boxed{}$$

- ② 3のだんの答えは[□]ずつ

ふえています。この3は、

() 数と^{おな}同じです。

$$3 \times 8 = \boxed{}$$

$$3 \times 9 = \boxed{}$$

10 かけ算 ⑭

な
ま
え

ねらい 3の段の九九の唱え方を知り、唱えることができる。

① 3のだんの九九をおぼえましょう。□にあてはまる^{かず}数^かを書いて、
 かけ算^{さん しき}の式^{こえ}をかんせいさせて、九九を声に出していってみましょう。

$$3 \times 1 = 3$$

三ーが 3

$$3 \times \square = 6$$

三二が 6

$$3 \times 3 = \square$$

三三が 9

$$3 \times \square = 12$$

三四 12

$$3 \times \square = 15$$

三五 15

$$3 \times 6 = \square$$

三六 18

$$3 \times 7 = \square$$

三七 21

$$3 \times \square = 24$$

三八 24

$$3 \times 9 = \square$$

三九 27

さんいちが ^{さん}3さんにが ^{ろく}6さざんが ^く9さんし ^{じゅうに}12さんご ^{じゅうご}15さぶろく ^{じゅうはち}18さんしち ^{にじゅういち}21さんぱ ^{にじゅうし}24さんく ^{にじゅうしち}27

② やって見たら やって見た、
 できたら できた のように、
 ○でかこみましょう。

① はっきりいえた。

やってみた

できた

② すらすらいえた。

やってみた

できた

③ ︱でプリントを
おって、いえた。

やってみた

できた

ねらい 3の段の九九をカードを用いて唱えることができる。

- ① 3のだんの九九のカードをつくしましょう。カードのおもての式と
うらの^{こた}えをかんせいさせましょう。

① 〈じゅんばんにならんだカード〉

おもて

うら

3×1	
$3 \times$	6
3×3	
3×4	
$3 \times$	15
$3 \times$	
3×7	
$3 \times$	24
3×9	

② 〈じゅんばんがばらばらのカード〉

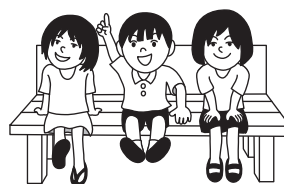
おもて

うら

3×8	
$3 \times$	27
3×2	
$3 \times$	21
3×6	

- ② ベンチが5台^{だい}あります。
子どもが1台に3人^{なん}ずつ
すわると、ぜんぶで何人
すわれるでしょうか。

式

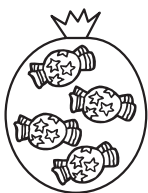


答え

ねらい 4の段の九九の構成をすることができる。

1 あめが4こずつ入っているふくろが6ふくろあります。

① あめはぜんぶで何^{なん}こあるでしょうか。

し
き
式こた
答え

2 4×1 から 4×9 までの答えをもとめましょう。
右の□にあてはまる数^{かず}を書きましょう。

$4 \times 1 = \square$

$4 \times 2 = \square$

3 右の式を見ながら、□にあてはまる数を書きましょう。

$4 \times 3 = \square$

$4 \times 4 = \square$

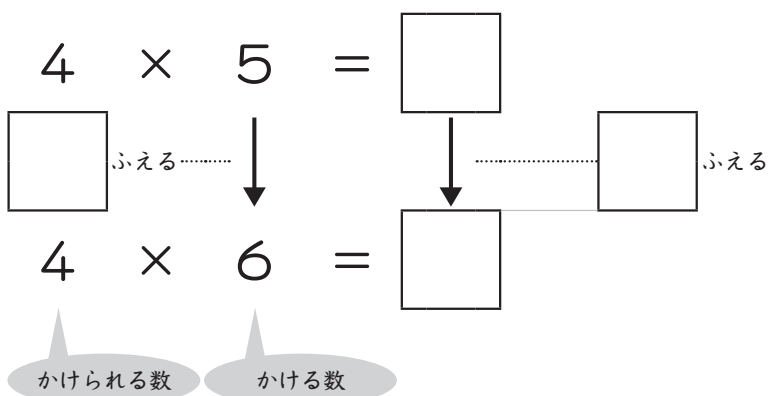
$4 \times 5 = \square$

$4 \times 6 = \square$

$4 \times 7 = \square$

$4 \times 8 = \square$

$4 \times 9 = \square$



4のだん^{さん}のかけ算では、
かける数が1ふえると、
答えは□ふえます。

ねらい 4の段の九九の唱え方を知り、唱えることができる。

① 4のだんの九九をおぼえましょう。□にあてはまる数を書いて、
かけ算の式をかんせいさせて、九九を声に出していってみましょう。

4 × 1 = 4	四一が 4
4 × □ = 8	四二が 8
4 × 3 = □	四三 12
4 × 4 = □	四四 16
4 × 5 = 20	四五 20
4 × 6 = □	四六 24
4 × □ = 28	四七 28
4 × 8 = □	四八 32
4 × 9 = □	四九 36

しいちが	4
しにが	8
しさん	12
しし	16
しご	20
しろく	24
ししち	28
しは	32
しく	36

② やって見たら やって見た、
できたら できた のように、
○でかこみましょう。

- ① はっきりいえた。
② すらすらいえた。
③ 〃でプリントを
おって、いえた。

やって見た
やって見た
やって見た

できた
できた
できた

ねらい 4の段の九九をカードを用いて唱えることができる。

- ① 4のだんの九九のカードをつくりましょう。カードのおもての式と
うらの答えをかんせいさせましょう。

① 〈じゅんばんにならんだカード〉

おもて

うら

4×1	4
4×2	
$4 \times$	12
4×4	
4×5	
$4 \times$	24
4×7	
$4 \times$	32
4×9	

② 〈じゅんばんがばらばらのカード〉

おもて

うら

4×4	
4×7	
$4 \times$	36
$4 \times$	20
4×8	

- ② プリンが4こ入ったパックが
7パックあります。

- ① プリンはぜんぶで何こ
でしょうか。

式

答え

- ② 1パックふえると、プリン

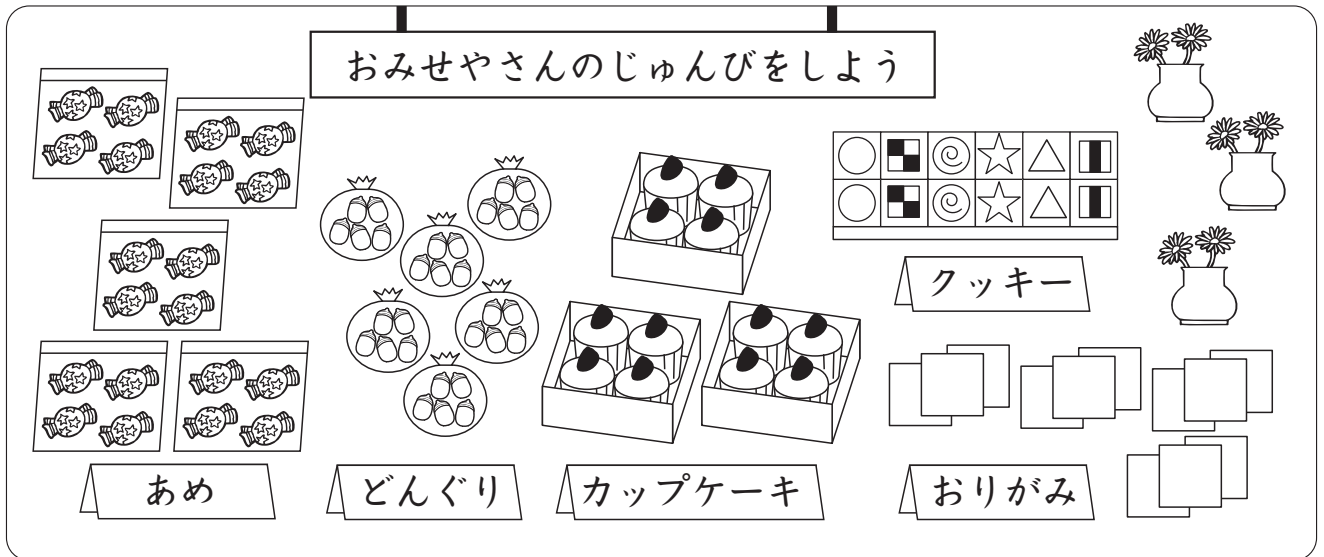
こふえて、プリンは

ぜんぶで こになります。

ねらい 乗法の式に合う問題をつくることができる。

Ⅰ ^え絵を見て、^{しき}つぎの式になる^{ざん}かけ算の^{つく}もんだいを作しましょう。

- ① 5×6 ② 4×3



- ① 5×6

- ② 4×3

※ ^{じかん}時間があったら、ほかにもかけ算の^かもんだいを作って、プリントのうらに書きましょう。

算数ワールド
九九であそぼうな
ま
え

ねらい 「カルタあそび」や「大きいほうが勝ち」「九九ビンゴゲーム」などを通して九九に習熟する。

1 ビンゴゲームをしましょう。

- ① 3のだんの九九の式を、
まずに書きます。
- ② 3のだんの
九九のカード（答え）から
1まい引きします。
- ③ カード（答え）の式に
○をつけます。
- ④ ②③をくりかえして、
たて、よこ、ななめの
どれかに○が3つならんだ
人がかちです。

2 ビンゴゲームをしましょう。

- ① 3のだんと4のだんの
九九の答えを、まずに
書きます。
- ② 3と4のだんの九九の
カード（式）から1まい
引きします。
- ③ 答えの数に○を
つけます。
- ④ ②③をくりかえして、
たて、よこ、ななめの
どれかに○が3つならんだ
人がかちです。

11 かけ算九九づくり ①

な
ま
え

ねらい 2の段から5の段までの九九を振り返り、それらの答えを九九表に書く。

- ① 九九の表の^{ひょう}あいているところに、2の^{だん}から5の^{だん}までの九九の^{こた}えを^かきましょう。

九九の表										
		かける数								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
かけられる数	2									
	3									
	4									
	5									

- ② 上の2の^{だん}から5の^{だん}までの九九の表を見て、
□の中にあてはまる^{かず}数や^{ざん}かけ算の^{しき}式を書きましょう。

① 3の^{だん}の答えは、 ずつふえている。

② 答えが8のところが つ、答えが12のところが

つあります。

③ 答えが20になるかけ算の式は、

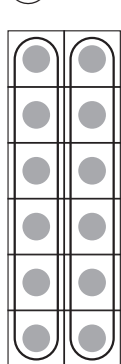
と です。

11 かけ算九九づくり ②

な
ま
えねらい 乗法の答えの求め方を、九九づくりの図を使って 6×2 の答えの求め方を説明する。

- ① 6×2 の^{こた}答えの^{かた}もとめ方を、^ず図をつかって^{めい}せつ明しましょう。
^{かず}□の中に^かあてはまる^{かず}数を書きましょう。

①

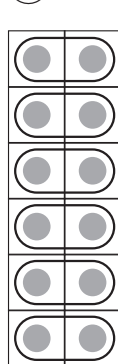


$$\boxed{} \times \boxed{} = \boxed{}$$

答えの^{かた}もとめ方

$$\boxed{} + \boxed{} = \boxed{}$$

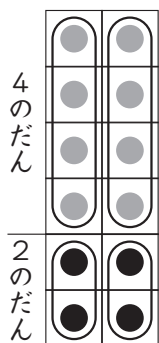
②



$$\boxed{} \times \boxed{} = \boxed{}$$

2 のだんの九九で
答えがわかります。

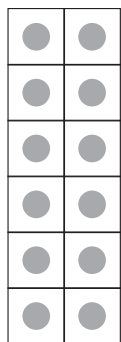
③



□ のだんの答えと、□ のだんの答えをたすと、
6 のだんの答えになります。

$$6 \times 2 \begin{cases} \rightarrow \boxed{} \times \boxed{} = \boxed{}^{(1)} \\ \rightarrow \boxed{} \times \boxed{} = \boxed{}^{(2)} \end{cases} \rightarrow \boxed{}^{(1)} + \boxed{}^{(2)} = \boxed{}$$

- ② 6×2 の答えの^{かた}もとめ方を、下の図をつかって^{めい}せつ明しましょう。
^{かず}□にあてはまる^{かず}数を書きましょう。



- ① 4 の3つ分で答えがわかります。

$$\boxed{} + \boxed{} + \boxed{} = \boxed{}$$

- ② 4 のだんの九九で答えがわかります。

$$\boxed{} \times \boxed{} = \boxed{}$$

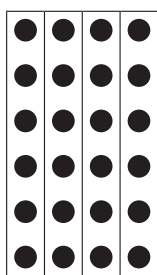
11 かけ算九九づくり ③

な
ま
え

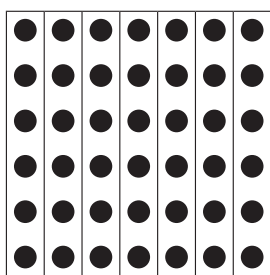
ねらい 6の段の九九を構成することができる。

- Ⅰ 図をつかって、6のだんの九九をつくりましょう。
□にあてはまる数を書きましょう。

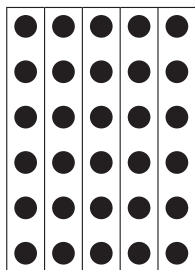
- ① 図を見て、6のだんの式と答えを書きましょう。



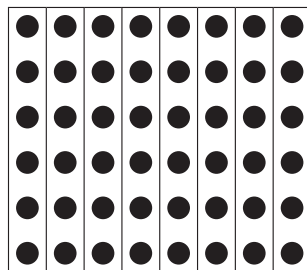
$$6 \times \square = \square$$



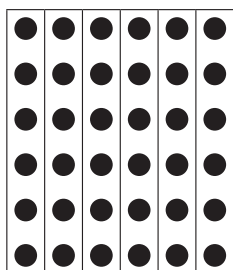
$$6 \times \square = \square$$



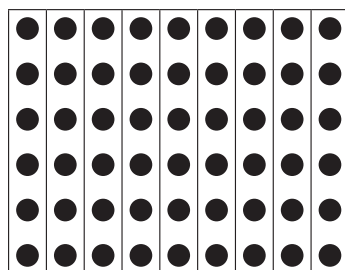
$$6 \times \square = \square$$



$$6 \times \square = \square$$



$$6 \times \square = \square$$



$$6 \times \square = \square$$

- ② 6のだんの九九の答えを、
□に書きましょう。

$$6 \times 1 = \square$$

$$6 \times 2 = \square$$

$$6 \times 3 = \square$$

$$6 \times 4 = \square$$

$$6 \times 5 = \square$$

$$6 \times 6 = \square$$

$$6 \times 7 = \square$$

$$6 \times 8 = \square$$

$$6 \times 9 = \square$$

6ふえる
6ふえる
6ふえる
6ふえる
6ふえる
6ふえる
6ふえる
6ふえる

11 かけ算九九づくり ④

な
ま
え

ねらい 6の段の九九の唱え方を知り、カードを用いて唱えることができる。

① 6のだんの九九を^{こえ}声に出して、
いってみましょう。

六一が	6	ろくいちが	^{ろく} 6
六二	12	ろくに	^{じゅうに} 12
六三	18	ろくさん	^{じゅうはち} 18
六四	24	ろくし	^{にじゅうし} 24
六五	30	ろくご	^{さんじゅう} 30
六六	36	ろくろく	^{さんじゅうろく} 36
六七	42	ろくしち	^{しじゅうに} 42
六八	48	ろくは	^{しじゅうはち} 48
六九	54	ろっく	^{ごじゅうし} 54

② 6×1 から 6×9 まで
じゅんばんに、カードの
おもての式^{しき}とうらの答え^{こた}を
かんせいさせましょう。

〔じゅんばんにならんだカード〕

おもて

うら

 6×1

6

 $6 \times$ $6 \times$ $6 \times$ 6×5

30

 $6 \times$ $6 \times$ 6×8

48

 $6 \times$

③ 6×4 と同じ^{おな}答えになる
3のだんの九九をいみましょう。

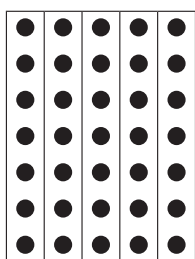
$$3 \times \square = \square$$

11 かけ算九九づくり ⑤

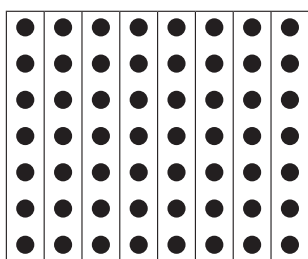
な
ま
え**ねらい** 7の段の九九の構成をすることができる。

- Ⅰ ^ず図をつかって、7のだんの九九をつくりましょう。
□にあてはまる数^{かず}を書きま^かしょう。

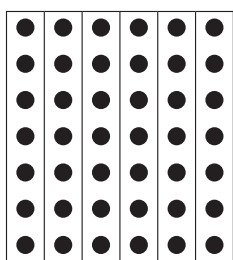
- ① 図を見て、7のだんの式と答^{しき}えを^{こた}書きま^かしょう。



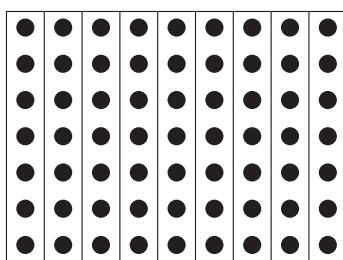
$$7 \times \square = \square$$



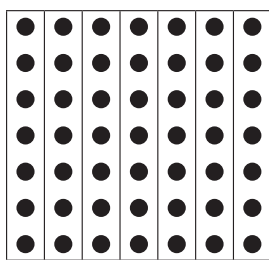
$$7 \times \square = \square$$



$$7 \times \square = \square$$



$$7 \times \square = \square$$



$$7 \times \square = \square$$

- ② 7のだんの九九の答^{しき}えを、^{こた}□に書きま^かしょう。

$$7 \times 1 = \square$$

$$7 \times 2 = \square$$

$$7 \times 3 = \square$$

$$7 \times 4 = \square$$

$$7 \times 5 = \square$$

$$7 \times 6 = \square$$

$$7 \times 7 = \square$$

$$7 \times 8 = \square$$

$$7 \times 9 = \square$$

ふえる

ふえる

ふえる

ふえる

ふえる

ふえる

ふえる

ふえる

- ③ 7のだんの九九では、かける数が1ふえると、答^{しき}えは□ふ^{こた}えます。

7×6の答^{しき}え□に、7をたすと、

7×7の答^{しき}え□になります。

11 かけ算九九づくり ⑥

な
ま
え

ねらい 7の段の九九の唱え方を知り、唱えることができる。

- ① 7のだんの九九をおぼえましょう。□にあてはまる数を書いて、
かけ算の式をかんせいさせて、九九を声に出していきましょう。

$$7 \times 1 = \square$$

七一が 7 しちいちが ^{しち}7

$$7 \times 2 = \square$$

七二 14 しちに ^{じゅうし}14

$$7 \times \square = 21$$

七三 21 しちさん ^{にじゅういち}21

$$7 \times 4 = \square$$

七四 28 しちし ^{にじゅうはち}28

$$7 \times \square = 35$$

七五 35 しちご ^{さんじゅうご}35

$$7 \times 6 = \square$$

七六 42 しちろく ^{しじゅうに}42

$$7 \times 7 = \square$$

七七 49 しちしち ^{しじゅうく}49

$$7 \times \square = 56$$

七八 56 しちは ^{ごじゅうろく}56

$$7 \times 9 = \square$$

七九 63 しちく ^{ろくじゅうさん}63

- ② クッキーがあります。



- ① ★のクッキーは、
どこにあるでしょうか。

式

こた
答え

- ② ◻のクッキーは、
どこにあるでしょうか。

式

答え

- ③ クッキーはぜんぶで
どこにあるでしょうか。

式

答え

11 かけ算九九づくり ⑦

な
ま
え

ねらい 7の段の九九をカードを用いて唱えることができる。

Ⅰ 7のだんの九九のカードをつくりましょう。

- ① 7×1 から 7×9 まで
じゅんばんに、カードの
おもての式とうらのこたえを
かんせいさせましょう。

〔じゅんばんにならんだカード〕

おもて

うら

7×1		●
$7 \times$	14	●
7×3		●
$7 \times$	28	●
7×5		●
$7 \times$	42	●
7×7		●
$7 \times$	56	●
7×9		●

- ② おなじこたえになる
九九のカードを●—●で
つなぎましょう。

●	5×7
●	3×7
●	2×7
●	6×7
●	4×7

11 かけ算九九づくり ⑧

な
ま
え

ねらい 8の段の九九の構成をすることができる。

- Ⅰ クッキーが1れつに8こずつ5れつにならんでいます。
ぜんぶで何こあるでしょうか。□にあてはまる数を書きましょう。

- ① どんな式になるでしょうか。

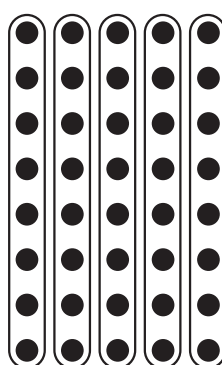
式 ×

- ③ クッキーはぜんぶで何こあるでしょうか。

答え

- ② 答えのもとめ方を考えましょう。

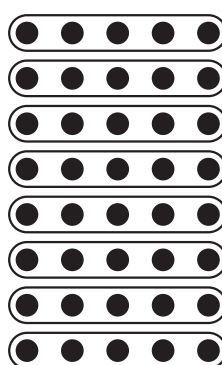
さとしさん



こずつの っ分

× =

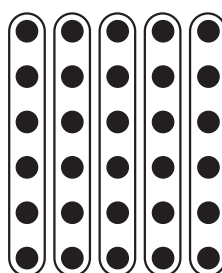
ゆうこさん



こずつの っ分

× =

まさきさん



→ × = ⁽¹⁾



→ × = ⁽²⁾

⁽¹⁾ + ⁽²⁾ =

8 × 1 = ふえる

8 × 2 = ふえる

8 × 3 = ふえる

8 × 4 = ふえる

8 × 5 = ふえる

8 × 6 = ふえる

8 × 7 = ふえる

8 × 8 = ふえる

8 × 9 = ふえる

- ② 8のだんの九九の答えを、□に書きましょう。

11 かけ算九九づくり ⑨

な
ま
え

ねらい 8の段の九九の唱え方を知り、唱えることができる。

1 8のだんの九九をおぼえましょう。□にあてはまる数を書いて、
かけ算の式をかんせいさせて、九九を声に出していきましょう。

8 × 1 = □	ハ一が 8	はちいちが 8
8 × □ = 16	ハ二 16	はちに 16
8 × 3 = □	ハ三 24	はちさん 24
8 × □ = 32	ハ四 32	はちし 32
8 × □ = 40	ハ五 40	はちご 40
8 × 6 = □	ハ六 48	はちろく 48
8 × 7 = □	ハ七 56	はちしち 56
8 × □ = 64	ハ八 64	はっぴ 64
8 × 9 = □	ハ九 72	はっく 72

花の形のクッキーとほしの形のクッキーは、
それぞれ何まいあるでしょうか。

花の形は、

式

こた
答え

星の形は、

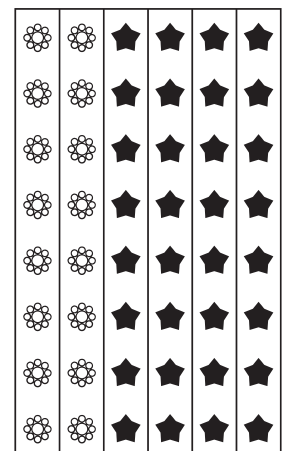
式

答え

ぜんぶで、

式

答え



ねらい 8の段の九九をカードを用いて唱えることができる。

- ① 8のだんの九九のカードを作^{つく}りましょう。カードのおもての式^{しき}と
うらの答^{こた}えをかんせいさせましょう。

① 〈じゅんばんにならんだカード〉

おもて

うら

8×1	
$8 \times$	16
8×3	
$8 \times$	32
8×5	
8×6	
$8 \times$	56
8×8	
8×9	

② 〈じゅんばんがばらばらのカード〉

おもて

うら

8×3	
$8 \times$	48
8×8	
8×7	
8×4	

- ② 8こ入りのチョコレートが
7はこありま^すす。
ぜんぶで何^{なん}こあるでしょうか。

式

答え

また、1はこふえると、
チョコレートは何こふえる
でしょうか。

答え

11 かけ算九九づくり ⑪

な
ま
え

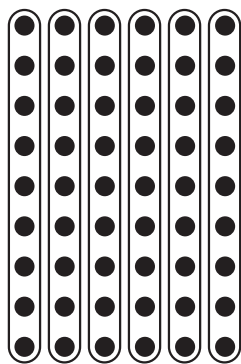
ねらい 9の段の九九の構成をすることができる。

Ⅰ 9人ずつの^{やきゅう}野球チームが6チームあります。
ぜんぶで何人^{なんにん}いるでしょうか。

① どんな式^{しき}になるでしょうか。

式 ×

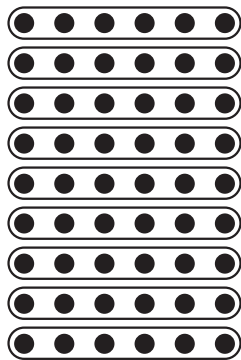
② 答え^{こた}のもとめ方^{かた}を考えましよう。



かずさん



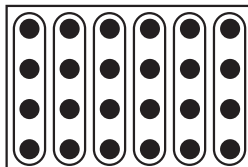
$$\square \times \square = \square$$



まさきさん



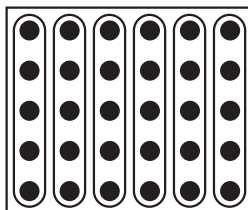
$$\square \times \square = \square$$



じゅんさん



$$\square \times \square = \square^{(1)}$$



$$\square \times \square = \square^{(2)}$$

$$\square^{(1)} + \square^{(2)} = \square$$

③ ぜんぶで何人いる
でしょうか。

答え

$$\begin{aligned} 9 \times 1 &= \square \rightarrow \square \\ 9 \times 2 &= \square \rightarrow \square \text{ ふえる} \\ 9 \times 3 &= \square \rightarrow \square \text{ ふえる} \\ 9 \times 4 &= \square \rightarrow \square \text{ ふえる} \\ 9 \times 5 &= \square \rightarrow \square \text{ ふえる} \\ 9 \times 6 &= \square \rightarrow \square \text{ ふえる} \\ 9 \times 7 &= \square \rightarrow \square \text{ ふえる} \\ 9 \times 8 &= \square \rightarrow \square \text{ ふえる} \\ 9 \times 9 &= \square \rightarrow \square \text{ ふえる} \end{aligned}$$

② 9のだんの
九九の答えを、
□に書きましよう。

11 かけ算九九づくり ⑫

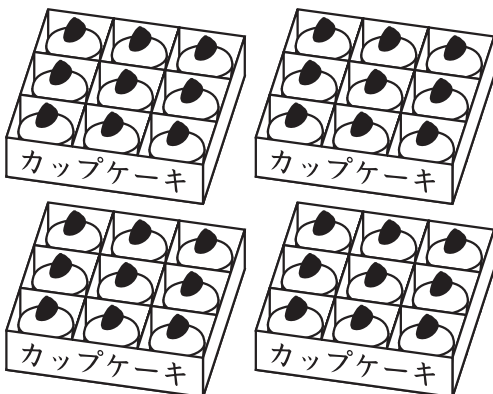
な
ま
え

ねらい 9の段の九九の唱え方を知り、唱えることができる。

- ① 9のだんの九九をおぼえましょう。□にあてはまる数を書いて、
かけ算の式をかんせいさせて、九九を声に出していきましょう。

9 × 1 =	□	九一が 9	くいちが 9
9 × 2 =	□	九二 18	くに 18
9 × 3 =	□	九三 27	くさん 27
9 × 4 =	□	九四 36	くし 36
9 × 5 =	□	九五 45	くご 45
9 × 6 =	□	九六 54	くろく 54
9 × 7 =	□	九七 63	くしち 63
9 × 8 =	□	九八 72	くは 72
9 × 9 =	□	九九 81	くく 81

- ② カップケーキは、ぜんぶで何こあるでしょうか。



式

こた
答え

11 かけ算九九づくり ⑬

な
ま
え

ねらい 9の段の九九をカードを用いて唱えることができる。

- ① 9のだんの九九のカードを作^{つく}りましょう。カードのおもての式^{しき}と
うらの答^{こた}えをかんせいさせましょう。

① 〈じゅんばんにならんだカード〉

おもて

うら

9×1	
$9 \times$	18
9×3	
$9 \times$	36
9×5	
$9 \times$	54
9×7	
$9 \times$	72
9×9	

② 〈じゅんばんがばらばらのカード〉

おもて

うら

$9 \times$	81
9×3	
9×6	
$9 \times$	45
9×7	

- ② 9こ入りのシューマイを
7はこ^か買いました。
ぜんぶで何^{なん}こあるでしょうか。
式

答え

また、もう1はこ買うと、
シューマイはぜんぶで何こに
なるでしょうか。

式

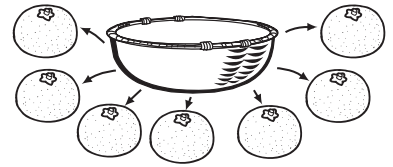
答え

11 かけ算九九づくり ⑭

な
ま
え

ねらい 1の段の九九の構成をすることができる。

- ① みかんを1人に1こずつくばります。
 7人^{ぶん}分では、みかんは何^{なん}こいるでしょうか。
 かけ算^{ざん}の式^{しき}に書いて、答え^{こた}をもとめましょう。



式

答え

- ② 1のだんの九九をおぼえましょう。□にあてはまる数^{かず}を書いて、
 かけ算の式をかんせいさせて、九九を声^{こえ}に出していきましょう。

1	×	1	=	
1	×	2	=	
1	×	3	=	
1	×	4	=	
1	×	5	=	
1	×	6	=	
1	×	7	=	
1	×	8	=	
1	×	9	=	

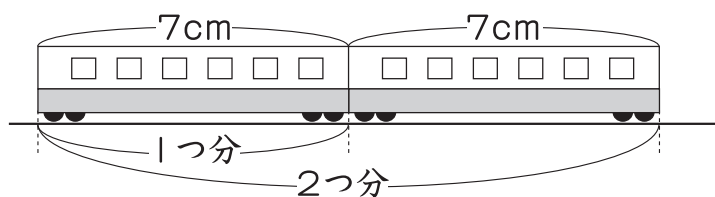
一 ^{いち} が	1	いんいちが	1
一二 ^に が	2	いんにが	2
一三 ^{さん} が	3	いんさんが	3
一四 ^し が	4	いんしが	4
一五 ^ご が	5	いんごが	5
一六 ^{ろく} が	6	いんろくが	6
一七 ^{しち} が	7	いんしちが	7
一八 ^{はち} が	8	いんはちが	8
一九 ^く が	9	いんくが	9

11 かけ算九九づくり ⑮

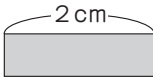
な
ま
え

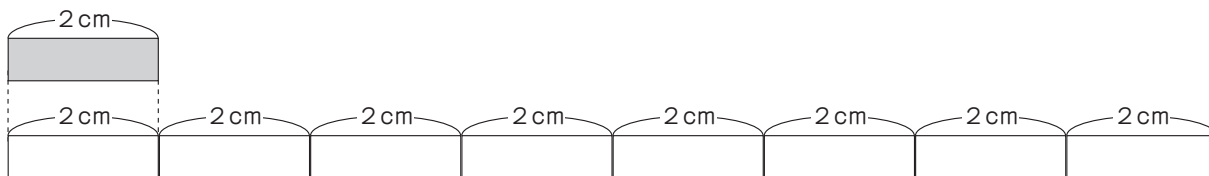
ねらい 倍の意味を理解する。

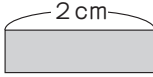
- ① おもちゃの電車^{でんしゃ}の長さ^{なが}は、7cmです。
 この電車の2台分^{だいぶん}の長さをもとめましょう。
 □にあてはまる数^{かず}を、()にはあてはまることば^かを書きましょう。



- ① 7cmの2つ分のことを、7cmの2 () ともいいます。
 ② 7cmの2倍^{ばい}の長さをもとめるときは、かけ算^{ざん}をつかいます。
 かけ算^{しき}の式にすると、□ × □ になります。
 ③ この電車の2台分の長さは□ cmになります。

- ②  の6倍の長さになるように、赤^{あか}で色^{いろ}をぬりましょう。



また、 の6倍の長さを、かけ算でもとめましょう。

式

こた
答え

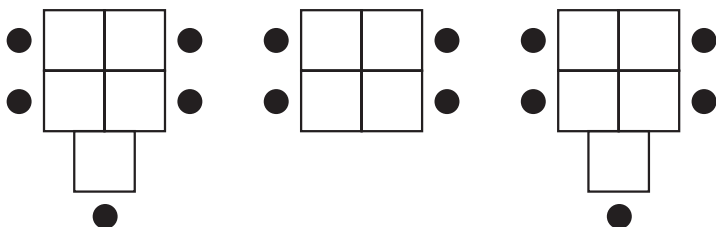
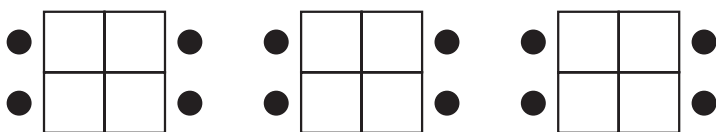
ねらい かけ算を用いる文章題を解決することができる。

Ⅰ かけ算をつかって、考えてみましょう。

- ① かずこさんの学級には、4人のはんが4つと、
5人のはんが2つあります。

学級の人数はぜんぶで何人でしょう。

し
き
式

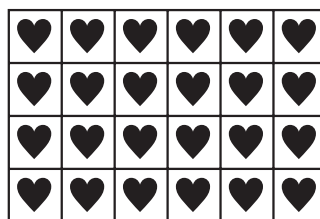


こ
た
答
え

- ② ハートがたのチョコレートが、1れつに4こずつ、
6れつ分入っています。

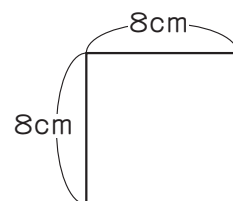
10こ食べると、のこりは何こになるでしょう。

式



答
え

- ③ 1つの辺の長さが8cmの正方形があります。
この正方形のまわりの長さは何cmでしょう。



式

答
え

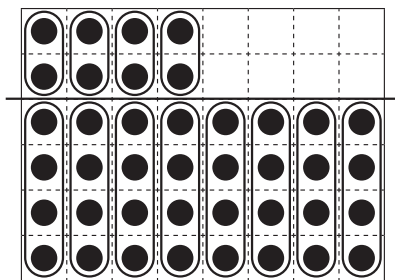
11 かけ算九九づくり ⑰

な
ま
え

ねらい 九九を活用して問題を解決し、乗法についての理解を深める。

- 1 九九をつかって、くふうしてチョコレート（●）の^{かず}数をもとめましょう。

ゆうこさん

し
き
式

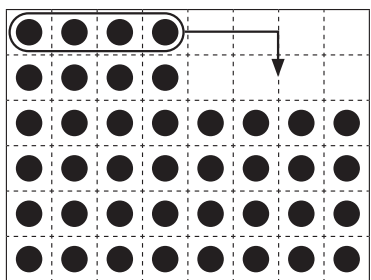
$$2 \times \square = \square$$

$$4 \times \square = \square$$

$$\square + \square = \square$$

こ
た
答
え

かずさん

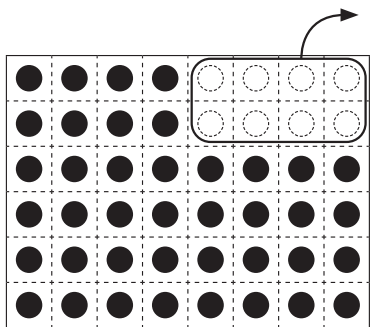


式

$$\square \times 8 = \square$$

答
え

まさきさん



式

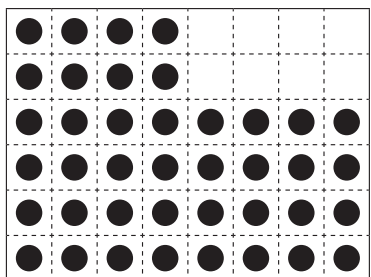
$$6 \times \square = \square$$

$$2 \times \square = \square$$

$$\square - \square = \square$$

答
え

- 2 右の式の^{かんが}考え方を、下の^ず図に^{ちよくせん}直線をひいてあらわしてみましょう。



式

$$6 \times 4 = 24$$

$$4 \times 4 = 16$$

$$24 + 16 = 40$$

答
え 40こ

★算数ワールド
九九ジグソーパズル

なまえ

ねらい九九に習熟し、乗法の性質について理解を深める。

- 1

九九の表で、ジグソーパズルを作りました。
まわりにある①から⑦が九九の表のどこにあてはまるか考えましょう。
九九の表に②から⑦の形と数をかきましよう。

九九の表

		かける数								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
かけられる数	1						①	7		
	2							14	16	
	3									
	4									
	5									
	6									
	7									
	8									
	9									

⑦

18	24
21	
24	

⑥

3	6
	8

⑤

12	
16	20
	25

①

7	
14	16

②

	64
63	72

③

	42	
40	48	56
	54	

④

28	32
	40
	48

12 長いものの長さ ①

な
ま
え**ねらい** 長さの単位「m」と単位の間係を理解する。

Ⅰ □にあてはまる数^{かず}やたんい^{たんい}を、() にはあてはまることば^{ことば}を
か^かきましょう。

① 100cmを1 () といい、1mと書きます。

② 1mの書き方^{かた}をれん^{しゅう}習をしましょう。

↓ 1m	1m	1m			
---------	----	----	--	--	--

③ 長いもの^{なが}をはかるときは、30cmのものさしより□の
ものさしをつかうとべんりです。

まず、大きいたんい□であらわして、
のこりを□のたんいであらわします。

④ 1mのものさしで、1こ^{ぶん}分と、あと30cmの長さは
□m□cmです。

⑤ 140cm = □m□cm

⑥ 1mのものさしで、3こ分の長さは、3□です。

12 長いものの長さ ②

な
ま
え**ねらい** 長さを複名数や単名数で表すことができる。

1 □にあてはまる数を書きましょう。

- ① 黒^{こく}ばんのたての長^{なが}さをはかったら、1mのものさして、
1つ分^{ぶん}と、あと20cmありました。

黒^{こく}ばんのたての長さは □ m □ cmです。

- ② 花^かだんのよこの長さは、1mのものさして、3つ分と、
あと半^{はん}分^{ぶん}ありました。

花^かだんのよこの長さは □ m □ cm、

または □ cmです。

2 □にあてはまる長さのたんいを書きましょう。

- ① 算^{きょう}数^かの教^か科^{しよ}書^{しよ}のあつさ 6 □

- ② 教^{きょう}室^{しつ}のゆかから天^{てん}じょうまでの高^{たか}さ 3 □

- ③ 教^{きょう}室^{しつ}のつくえのよこの長さ 60 □

3 □にあてはまる数を書きましょう。

- ① 300cm = □ m ② 250cm = □ m □ cm

- ③ 7m25cm = □ cm ④ 7m 5cm = □ cm

ねらい m単位の長さについても加法性が成り立つことを理解する。

1 □にあてはまる^{かず}数^かを書きましょう。

① $2\text{ m } 5\text{ cm} + 15\text{ cm} = \square\text{ m } \square\text{ cm}$

② $3\text{ m } 20\text{ cm} + 4\text{ m} = \square\text{ m } \square\text{ cm}$

③ $4\text{ m } 65\text{ cm} - 1\text{ m } 45\text{ cm} = \square\text{ m } \square\text{ cm}$

④ $3\text{ m } 73\text{ cm} - 2\text{ m } 70\text{ cm} = \square\text{ m } \square\text{ cm}$

⑤ $2\text{ m } 84\text{ cm} - 1\text{ m} = \square\text{ m } \square\text{ cm}$

2 花だん^かのよこ^{なが}の長さをはかったら、1 mのものさしで2 ^{ぶん}分と、あと30 cmありました。

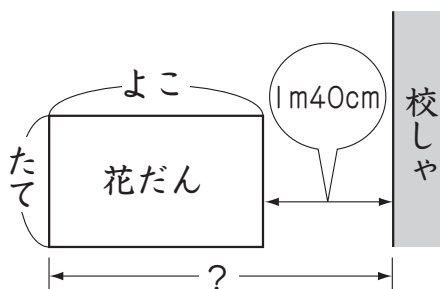
校^{こう}しゃのかべから花だんまでは1 m 40 cmありました。

① 花だん^かのよこ^{なが}の長さは、何^{なん} m 何 cm でしょうか。

こた
答え

② 花だんのはしから、校^{こう}しゃのかべまでの長さは、何 m 何 cm でしょうか。

しき
式



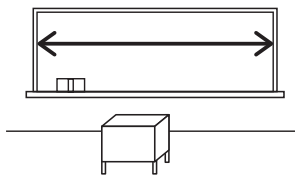
答え

12 長いものの長さ
(学んだことをつかおう) ④な
ま
え**ねらい** 身の回りのものの長さについて、およその見当をつけ、測定することができる。

- Ⅰ ^{なが}長さをよそうしてから、1mのものさし、2mのテープ、3mのテープで長さをはかってみましょう。

◇よそうの書き方…… ^か^{かた}2mより少し (みじかい)。

- ① ^{きょうしつ}^{こく}教室の黒板のよこの長さ

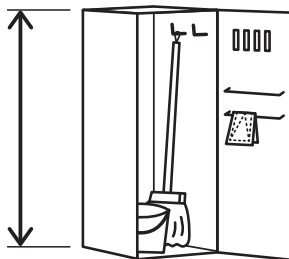


よそう

 mより少し ()

はかったら

- ② ^{ようぐ}そうじ用具入れロッカーの^{たか}高さ

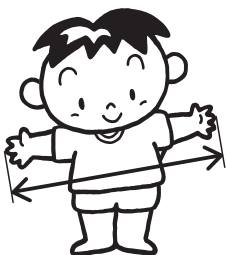


よそう

 mより少し ()

はかったら

- ③ ^{ひろ}じぶんが手を広げた長さ

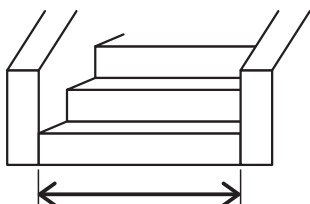


よそう

 mより少し ()

はかったら

- ④ 1かいから2かいに^あ上がるかいだんのよこの長さ



よそう

 mより少し ()

はかったら

★算数ワールド
算数カレンダーを作ろう

な
ま
え

ねらい

1つの数をほかの数の和や差、積として見るなど、数についての感覚を豊かにする。

1

下のカレンダーに^{らいねん}来年1月の日に^かちを書きましょう。

日	月	火	水	木	金	土

2

カレンダーから、^{かず}すきな数を1つえらんで、その数に^{あしきず}合う式や^え図、絵などを、3つかきましょう。